

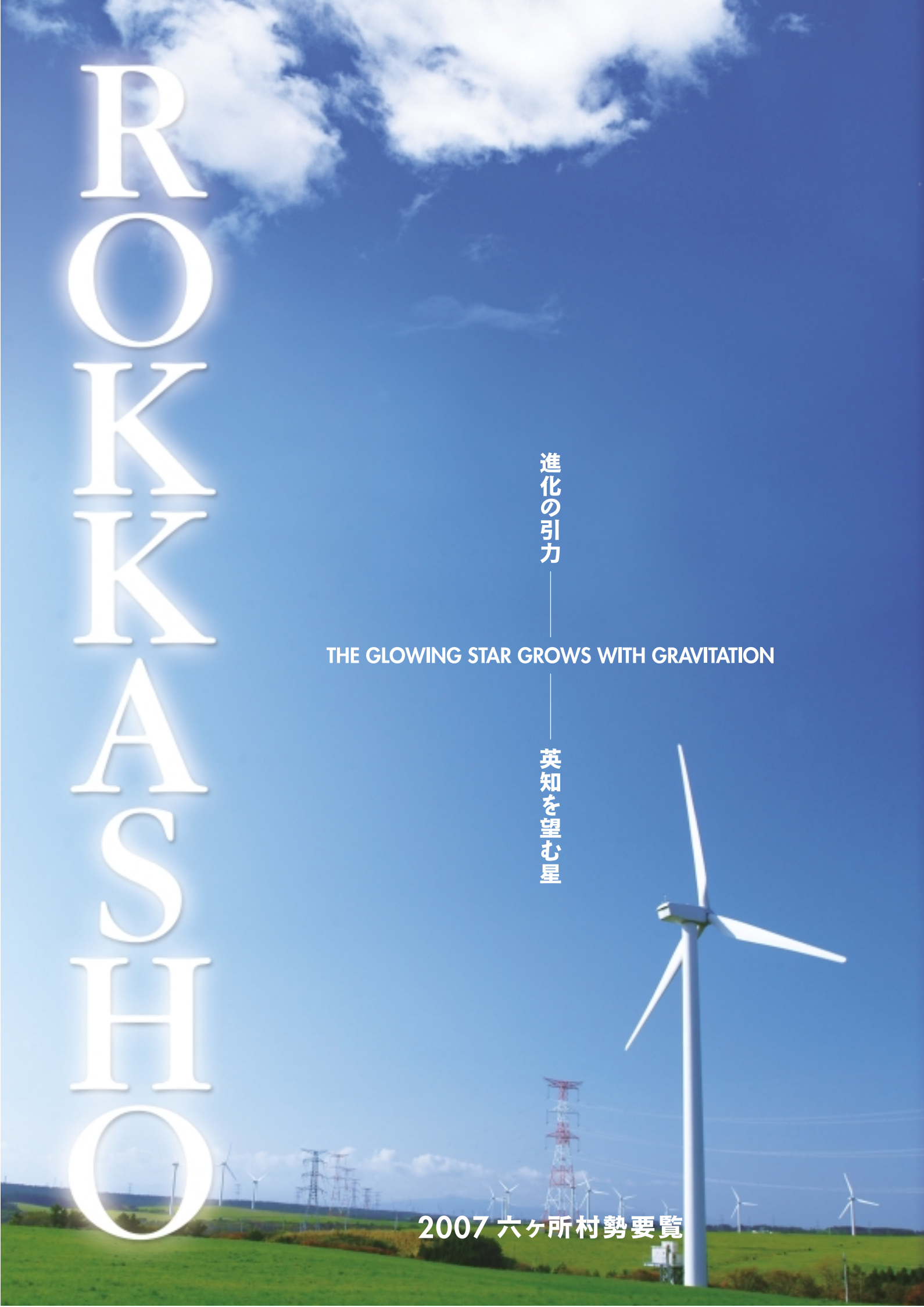
# ROKKASHO

進化の引力

THE GLOWING STAR GROWS WITH GRAVITATION

英知を望む星

2007 六ヶ所村勢要覧



# CONTENTS

## On the trip into Rokkasho

Nature  
History  
Culture  
Festivals  
Products  
Leisure

## Key industries

Agriculture  
Fishery  
Stock Farming & Forestry  
Commerce & Manufacture  
Energy & Technology

## Kaleido scope

## Administrative policy

Health & Welfare  
Exchanges  
Education  
Safety  
Administration & Assembly

## Message from mayor/Resident policy symbol

## Wish of Pleiades

## Stream of the village

## Rokkasho wide area map

# 目次

## 六ヶ所村を知る旅

	2
自然	3
歴史	5
文化	7
祭り・イベント	9
物産	11
レジャー	13

## 主要産業

	14
農業	15
漁業	16
畜産・林業	17
商工業	18
エネルギー・科学	19

## 座談会 「六ヶ所村に来て見たもの」

	24
施策概要	30
健康・福祉	31
交流	32
教育	33
安全	34
行政・議会	35

## 村長挨拶 / 村民憲章・村章

## 住民メッセージ 「六連星の願い」

## 資料編

## 六ヶ所村広域地図



村の花「ニッコウキスゲ」  
NIKKOKISUGE



村の鳥「オジロワシ」  
OJIROWASHI



村の木「クロマツ」  
KUROMATSU

# R O n the trip into Rokkasho

K  
K  
A  
S  
H  
O

六ヶ所村を知る旅

# 自然

Nature

人々がこの地にたどり着く遙か昔から、それはここに在る。  
人々がこの地に根ざしてからも、懸命に生きる姿を見守り続けている。  
村が発展を遂げても、自然の姿は変わらない。  
科学と自然とは相反するものではない、共生できるのだと教えてくれる。

*Rokkasbo Village is home to many rare species of high academic value, such as White-tailed Sea Eagle and Marsh Grassbird, which inhabit mainly the lakes. The Pacific Ocean-front Tomari District, a northern part of the village, is known for its oddly-shaped rocks called Tatami Iwa and the magnificent cape created by wave erosion, Monomizaki.*

※写真に付随する文中の〈 〉は、P.50 地図上での位置を示しています。

## 受け継がれる自然

昔から六ヶ所村の人々は、農耕や漁を通して自然を愛し、その恩恵を受けて暮らしてきました。

時代は流れ、人の生活の在り方が変わった今も、その想いは受け継がれています。

人間の利便性、近代化だけを追い求めず、共存していくために村は、世界的にも絶滅の恐れがある動植物を保護し、生息環境を整え、美しい景観を守ってきました。

その結果、六ヶ所村では今も多く生き物と雄大な自然の姿を見ることが出来ます。

小川原湖とマテ小屋  
Lake Ogawara and Mate buts  
〈B-6〉

現在は見られなくなったマテ漁だが、マテ小屋はそのままの形で残されている。

*Today, the mate fishing is obsolete. However, mate buts remain as they were when in use.*



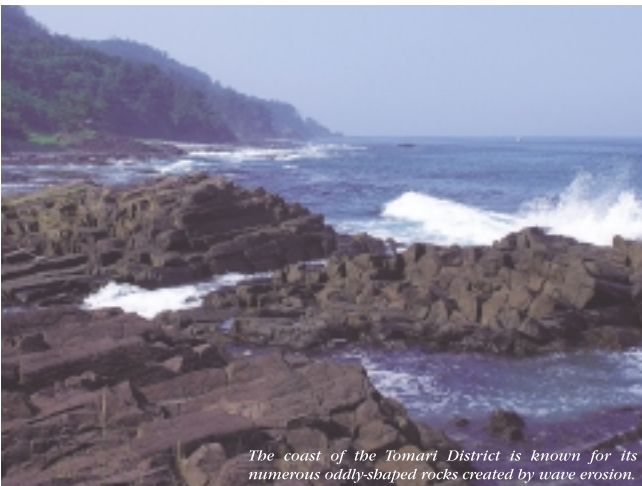
Erected at Cape Monomizaki, this lighthouse beams its beacon to protect the safety of ships coming and going.

Monomizaki Lighthouse

物見崎灯台

《C-1》

物見崎にあるこの灯台は、行き交う船の安全を見守る光。



The coast of the Tomari District is known for its numerous oddly-shaped rocks created by wave erosion.

Tomari Coast

タタミ岩

《C-1》

泊の海岸には、波の浸食が創り出した奇岩が多く見られる。



In winter, swans come flying over to Rokkasho Village, where you can spot many different wild birds, and impress you with their elegance.

Musubi Ouchi

尾駸沼

《B-4》

《C-4》

多くの野鳥が見られる六ヶ所村では、冬には白鳥も飛来し優雅な姿を見せてくれる。



Plants are robust enough to take roots in slight hollows in the rock face of the coast.

Wild plants

自生植物

《C-1》

海岸の岩肌にできたわずかなくぼみにも植物たちはたくましく根をおろす。

## 希少な動植物

湖沼群を中心に、六ヶ所村には珍しい鳥類が多く生息しています。カンムリカイツブリは、日本で唯一の生息地となっており、ほかにオジロワシ・オオワシ・オオセツカなど、レッドデータブック（絶滅危惧種をまとめた本）に掲載されているものも少なくありません。さらにこの地域では、カワトンボ・イトトンボ・ムカシトンボなど、めずらしい昆虫も観察できます。

植物ではニッコウキスゲ、サワギキョウ、エゾミンハギやエゾリンドウなどが咲き、見る人の目を楽しませてくれます。

六ヶ所村は北方系と南方系の植物が両方見られるため、学術的にも貴重な場所です。

## 水景のまち

六ヶ所村は五つの湖沼群と太平洋からなる水辺の多い村です。泊の海岸にはタタミ岩と呼ばれる奇岩が存在し、その周りでは滝の尻大滝や、岩の裂け目から突然潮が吹き上がる「ポットアゲ」を見ることが出来ます。さらに泊の北、物見崎は波の浸食によって形づくられた岬で、その先端に建つ白い灯台は行き交う船の目印となっています。

滝の尻大滝  
Takinoshiri Fall  
《C-1》

物見崎を含む泊は、たくさん見所がある。滝の尻大滝もそのひとつといえるだろう。

Tomari District, including Cape Monomizaki, has many places to see. One of them is the Great Takinoshiri Fall.



# 歴史

History

歴史とは、時代を駆け抜けた人々の生きたあかし。伝え続けなければ消えてしまうそれを、村は大切に守り受け継いでいく。現在を生きる私たちもまた、延々と紡がれてゆく歴史の途中にいる。



Rokkasho Village came into being in the Meiji era, when six separate communities united to form a village. Visit the Village Museum that exhibits objects unearthed from the 4,700-year-old Tominosawa Ruins in Rokkasho Village and other local collections and you can find out what the village was like in the past. Kagura (sacred music and dancing performed at shrines) handed down from ancient times in each community is also inherited and passed on to the next generations by the Preservation Association.

## 神楽

Kagura traditional Shinto dance

六ヶ所村には各集落に古くから伝わる神楽があります。大きく分けると太神楽と山伏神楽がありますが、そのなかでも早池峰系や能舞などいくつかの系統に分かれており、集落ごとに違います。神楽は、祭りの日に神社に奉納されるほか、正月には家々をこ祈禱してまわります。この伝統文化を守るため、村では神楽を無形文化財に指定し、保存会の人々が次の世代へと継承します。



## まるきぶね

Maruki-bune

泊地区に現存する丸木舟は、昭和30年代まで、アビやワカメをとるための磯船として使われていました。丸木舟は船底が浅いので風に流されにくく、他の船に比べて作業がしやすかったといわれています。ことから、先人たちの知恵と工夫がうかがえます。

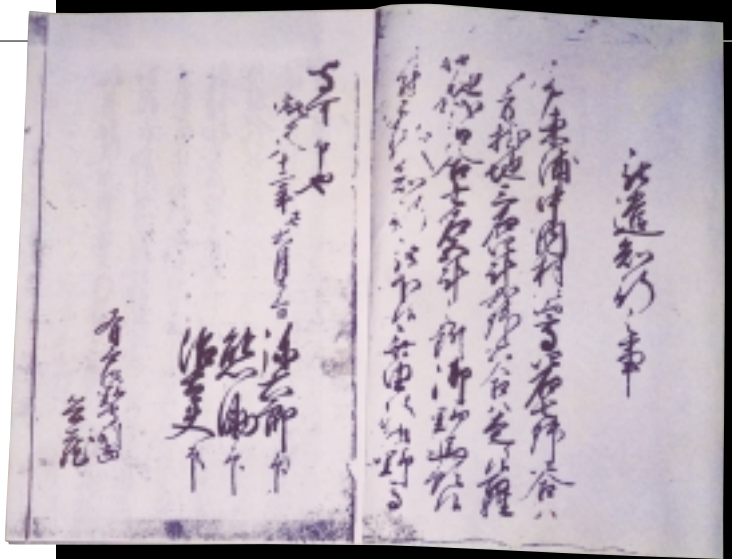


国指定重要有形民俗文化財「泊のまるきぶね」  
(県立郷土館所蔵)

## 地名の由来

*An origin of the place name*

六ヶ所村は、明治の町村制施行で六つの集落が集まってできました。それぞれの集落の名が馬に由来するという伝記が、200年ほど前の文書に残されています。古来よりこの地は名馬の産地として知られおり、鎌倉時代に「生食」という名馬が、源頼朝の軍馬になりました。その馬の門出たところが「出戸」、身丈が鷹待場の架のようだったので「鷹架」、背中が沼のように平らだったので「平沼」、尾が斑になっているので「尾駮」。さらにその馬に鞍を打ったので「倉内」、鎌倉へ引き渡すために泊まったところが「泊」となりました。



地名にまつわる伝説を記す「木村文書」

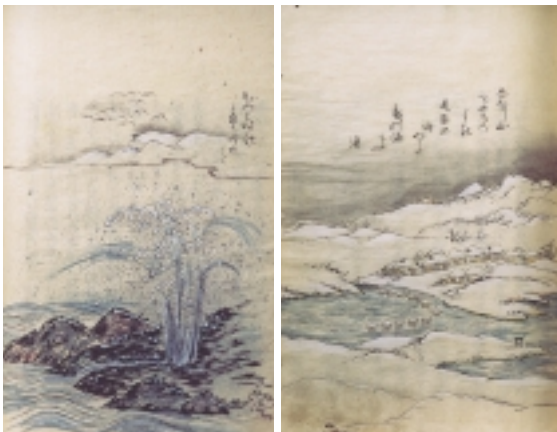
## 菅江真澄とおぶちの牧

*Sugae Masumi and Obuchinomaki*

寛政五年（1793年）の冬、平安中期の後撰和歌集に詠われている「おぶちの牧」を見るため六ヶ所村を訪れた人物がいます。江戸時代の旅行家・菅江真澄（1754年〜1829年）です。真澄は旧暦の11月30日から、およそ2週間をこの村で過ごし、その自然や人々の様子を歌や絵にし、旅日記を残しています。



菅江真澄（秋田県大館市立中央図書館蔵）



菅江真澄「おぶちの牧」（秋田県立博物館蔵の写本）  
（左）「泊のボツアゲ」（右）「尾駮のマテ小屋」

## 縄文遺跡

*The jomon remains*

ここ六ヶ所村には富ノ沢遺跡や大石平遺跡など、145ヶ所の遺跡があります。青森県内でも最大級の集落跡と思われる遺跡、富ノ沢遺跡は4700年前から4000年前にかけて、約500軒から成る大集落であったと考えられています。また、縄文後期の大石平遺跡からは、集落跡とともに、子どもの手形や足形などが発見されています。これらの遺跡は、縄文の暮らしを知る上で大変貴重な資料です。



「鼻曲がり土面」（上尾駮遺跡 縄文晩期）

## 郷土館

(B-3)

*Rokkasho local museum*

六ヶ所村ではこれら郷土の歴史を後世に伝えていくため、郷土館を整備し資料を展示しています。村の児童生徒や、青森県内外からの観光客など多くの人が訪れています。



国指定重要文化財（考古資料）  
「赤漆切断彩色壺型蓋付土器」  
（大石平遺跡）縄文後期  
（青森県埋蔵文化財調査センター蔵）

# 文化

Culture



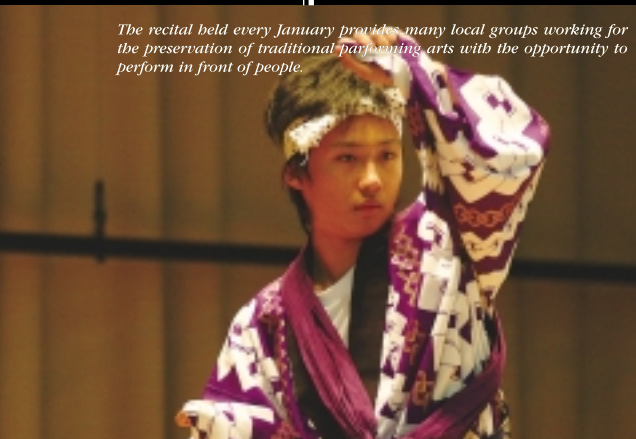
稚児行列  
Chi-go kids Parade

平安装束に身を包んだ子どもたちが町内を練り歩く。Children clad in Heian period costumes parade around the town.

## 民俗芸能発表会 Folk dance exhibition

毎年1月に行われる発表会は、伝統芸能を保存する会の発表の場。

The recital held every January provides many local groups working for the preservation of traditional performing arts with the opportunity to perform in front of people.



## 伝統芸能

六ヶ所村では、村の歴史や文化的な資源を保存・継承しています。神楽などの伝統芸能は、泊、出戸、戸鎖、千歳、千歳平、平沼、倉内、中志に伝えられており、各地区の保存会によって守られ、子どもたちへと受け継がれます。

村内各地区の神楽や獅子舞を他の地区の人たちにも知ってもらい、保存会同士の交流を深めるために、毎年冬には民俗芸能発表会が催されます。発表会では、各地区の保存会や子どもたちの舞が披露され、村民に親しまれています。

受け継がれる歴史を、見失うことのないように、知りうる伝統と文化を、絶やさぬように、未来へと、守り、伝える。  
この村の誰もが、この村を愛し、誇れるように。



Rokkasho Village holds cultural workshops and seminars on local heritage open to everyone at the Cultural Exchange Plaza Swany and community centers. The library adjacent to the Swany is also available to the public. In addition, the village organizes a range of international exchange programs with Germany, South Korea and other countries, which help local children to develop a global vision through homestays in different cultures and sports exchanges.



Participants of respective cultural workshops present their results at the Cultural Festival that is held in November at the Swany.



村民文化祭での教室発表  
Exhibition of cultural workshops  
11月にスワニーで開催される文化祭では、各文化教室の発表会も行われる。



A wide range of workshops and hands-on learning programs are available in the village.



文化体験  
culture experience  
村内では様々な教室や体験学習の機会を設けている。

Works of respective groups, clubs and individual children/students are displayed at the Villager's Cultural Festival.



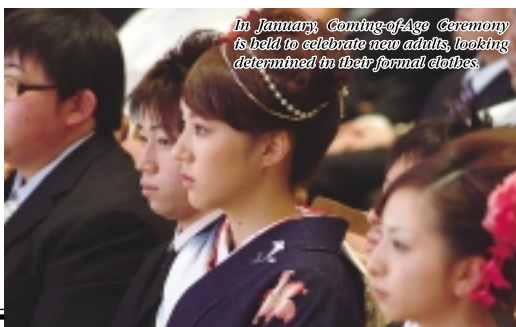
作品展示  
Displayed works  
村民文化祭では各団体、サークル、児童生徒の作品が展示される。



Friendship soccer game with South Korean elementary school students.

スポーツ交流  
Sports exchange  
韓国の小学生とのサッカー交流試合。

In January, Coming-of-Age Ceremony is held to celebrate new adults, looking determined in their formal clothes.



成人式  
Coming-of-Age Ceremony  
1月には、凛々しい姿の新成人たちを祝福する、成人式が行われる。

## 生涯学習

六ヶ所村では、文化交流プラザ「スワニー」や公民館を活用し、外国語教室をはじめ、茶道など誰もが参加できる文化教室を実施しています。また、ふるさとを見つめなおし、地域づくりに役立てるため、講師を招いての講習会「郷土大学」を開催し、村民が村の魅力を再発見し、地域に誇りをもてるよう活動を支援しています。そのほか、スワニーに隣接する村民図書館は、誰でも自由に図書を閲覧することができます。その蔵書数は年々増加しています。

## 文化交流

エネルギー・科学技術の発展にともない、国内外からの流入人口も増えています。また、六ヶ所村ではドイツ・ヴァーレン市と友好都市提携をしているほか、韓国、アメリカなども交流しており、子どもたちはホームステイやスポーツ交流を通して外国を知ること、グローバルな精神を育んでいます。

文化交流プラザ スワニー  
The cultural exchange plaza Swany and library (C-4)

村の交流拠点施設。音響設備の充実したホールを有し、約500名まで収容可能な大会議室や、茶室を備えた和室、小会議室など、利用者のニーズに合わせた使用が可能。各種コンサートが開催されるほか、生涯学習の講座も多く開かれている。併設の村民図書館には、約4万冊の蔵書がある。

This is the center for communication between villagers, where a wide range of concerts and lifelong learning programs are provided. The attached Villager's Library has a collection of about 40,000 books.



# 祭り

Festivals

## イベント

四季の変化を感じながら暮らす村人は、自然を敬い、祭りを重んじる。人同士が共有できる喜び、楽しみ、祈り、それらを分かち合うことで絆は強くなり、交流の輪はさらに広がってゆく。

### 郷土の祭り

六つの集落が集まってできた六ヶ所村には、それぞれの地区がもつ伝統的な祭りがあります。拝殿で「晩を過す倉内の「おこもり」、病追いのわら人形で無病息災を祈願する平沼の「四方止め」、さらには「船霊さま」や「オシロサマ」など、地域独特の行事が数多く残り、今でも大切にされています。また、村全体が交流を深める大きなイベントもあり、毎年たくさんの方々が来場者で賑わいます。

Rokkasho Village, originally formed from six separate communities, has an annual large-scale festival that features traditional festivals of respective communities and helps promote social bonds between people across the village, which attract many visitors every year.



ろっかしよ産業まつり(10月)  
Rokkasho Industry Festival (C-4)

畑の収穫とサケ漁のシーズンである10月下旬に行われる祭り。活きの良いサケを素手で捕まえるつかみ取りや地引網体験の他、バーベキュー、新鮮なイクラを使ったイクラ丼販売、農海産物の販売などが行われます。外国の方も多数来場するなど、国際色豊かなイベントです。



馬力大会(10月)  
The draft horse race (C-4)

昔から馬の産地として多くの名馬を産出してきた六ヶ所村では、現在でも馬力大会が行われます。東北各県から集まった力自慢の馬と、それを操る騎手が一体となり迫力あるレースを繰り広げます。



**たのしむべ!!フェスティバル(5月)**  
*Tomoshibe (Let's enjoy!) festival*  
 県南で春一番に打ち上げられる花火をはじめ、キャラクターショーや、タレントによるステージショーなど、大人も子どもも楽しめる様々なイベントが催され、県内各地から訪れる人で賑わいます。

(B-3)

**泊大祭 (7月)**  
*Tomari festival*

三日間に渡って行われる泊大祭。神輿や山車が町内を練り歩く「神輿渡御」や、地域の漁師たちが集まったの大漁祈願祭が行われます。「港祭り」では出店が並び、会場では獲れたてのウニが調理されるなど、港の伝統と風情を存分に味わうことができます。

三日間に渡って行われる泊大祭。神輿や山車が町内を練り歩く「神輿渡御」や、地域の漁師たちが集まったの大漁祈願祭が行われます。「港祭り」では出店が並び、会場では獲れたてのウニが調理されるなど、港の伝統と風情を存分に味わうことができます。



**村民体育大会 (8月)**  
*Rokkasho Sports Festival*

(B-3)

体育大会は、老若男女問わず多くの村民が参加できるよう工夫され、長い間親しまれてきました。徒競走やリレーはもちろん、綱引きに玉入れ、長縄跳びに趣向を凝らした障害物リレー、踊りまで披露され、村中が沸き返る夏のイベントです。

**村民文化祭 (11月)**  
*Rokkasho cultural festival*

《C-4》

村民文化祭は、スワニーを会場として毎年秋に行われます。バレエ、音楽など各学校・文化教室の発表会のほか、著名人による講演、村民の手芸・芸術作品の展示、村内の施設で育てられた鉢植え花や手作りお菓子の販売なども行われ、多くの人で賑わいます。また、健康展や食堂、茶道体験コーナーも設けられ、一日中楽しむことができます。



# 物産

Products

村の自慢の特産物。

より多くの人に食べてもらえようと願いを込める。「おいら」のひと言、くちくちもがんばれる。

Rokkasbo village has, thanks to the sea and the mountains, a variety of specialties. The producers wish their products to reach as many people as possible.



"Rokusbu," a shochu made from nagaimo yam (rare even in Japan), has emerged as a promising new specialty of the village.

六 越  
Rokusbu spirit

長芋を原料にした日本でもめずらしい焼酎「六越」も販売され、村の新しい特産として期待されています。



レイクファーム  
Lake Farm

小川原湖のほとりでのびのびの育った牛の、搾りた牛乳を美味しく作った乳製品のほか、肉加工品、ブルーベリージャムなど、オリジナル商品を生産し、県内外から高い評価を受けています。

The village's specialty products include dairy products made from fresh milk of cows grown at Lake Ogawara, processed meat products and blueberry jam, which are all highly accepted by consumers inside and outside the prefecture.



The highly nutritious nagaimo yam is one of the best known agricultural products of Rokkasho Village.



Nagaimo yam  
長芋

この地方は、根菜類の栽培に適しています。農家の人たちの努力が実り、栄養豊富な長芋は現在、六ヶ所村を代表する農産物となりました。

Rokkasho Village has a wide variety of seafood delicacies to offer visitors, such as the squid pickled in soy sauce Ika Oki-zuke (Coastal Pickles of Squid), dried squid Ika no Senjo Boshi (Squid Dried on Shipboard) and smoked flatfish.



水産加工品  
Fish products

イカを船上で醤油漬けにした「いか沖漬け」や、新鮮なイカを自然乾燥させた「イカの船上干し」、天然のヒラメを低温じっくりと燻製にした「おさしみスモーク」など、六ヶ所村の海の幸、様々な味わいを楽しめます。

A lot of thought was given to all specialty confectionery of Rokkasho Village, for example Goma Roku, Uba Yama, Uni Yokan, Konbu Yokan and steamed buns containing nagaimo yam.



甘味 菓子  
Sweets

「ごま」と混ぜた白あんを、餅ではなく米の皮で包んだ「ごま餅」。「うば羊羹」に「ごんぶ羊羹」。長芋を使った饅頭、地域に伝わる「うば玉」など、六ヶ所村のお菓子はアイデアとこだわりが詰まった手作りの品ばかりです。

郷土料理  
Local dishes

海の恵みと村の風土が相俟って、美味しい郷土料理も生まれました。泊では、海藻マシや、冬場限定のキハガレイの鍋が、民宿などで楽しめます。

The combination of the blessings of the sea and the village's climate produces delicious local dishes. In the Tomari District, you can enjoy the seaweed hornewort, and in winter a one-pot dish of Kibagarei fish.

# レジャー

Leisure

スパハウスろっかぽっか  
Spa House Rocca-Pocca  
《B-5》

訪れた人の「たのしかった」、「またくるよ」が  
村の観光を支える柱。

In addition to its abundant nature, Rokkasho Village has a hot spring resort, golf court and other attractions, allowing you to fully enjoy your leisure time.



This is the hot spring bathing facility for day visitors in the Takaboko District, "Spa House Rocca-Pocca." It has not only large common tubs but also Hiba tubs, outdoor tubs and saunas. Karaoke and massage rooms are also available.

鷹架地区の日帰り温泉施設「スパハウスろっかぽっか」。大浴場のほか、ヒバ風呂、露天風呂、貸切り風呂、サウナなどがあります。また、カラオケルーム、マッサージルームなども完備されています。

Across from the "Spa House Rocca-Pocca" is the plant of the nagatmo yam sbocbu "Rokusbu." As plant tours are available to visitors, you can look at the interior of this well designed building.

六趣醸造工房  
Rokushu brewery  
《B-5》



「スパハウスろっかぽっか」の向いには、長羊を使った焼酎「六趣」の生産工場があります。デザイン性の高い建物は、内部を見学することも可能です。

六ヶ所原燃  
PRセンター  
Rokkasho nuclear  
fuel cycle PR center  
《B-3》

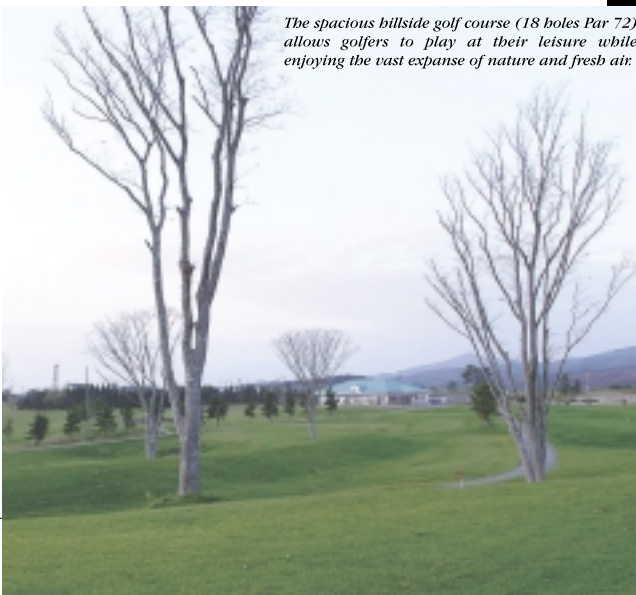
原子燃料サイクルをはじめ、原子力や放射線についてパネルや映像でわかりやすく紹介しています。またサイクル工場の工程を知ることができます。



You can find out about nuclear fuel cycle, nuclear power and radiation, as well as the processes of the cycle facilities.

The spacious hillside golf course (18 holes Par 72) allows golfers to play at their leisure while enjoying the vast expanse of nature and fresh air.

下北スリーハンドレッド  
ゴルフクラブ  
Shimokita three-  
hundred golf club  
《B-3》



丘陵コースに18ホールパー72を有するゴルフコースは、広大な自然と澄みきった空気を楽しみながらゆったりとプレイできます。

六ヶ所温泉  
Rokkasho hot spa  
《B-4》

日本一採掘深度の深い温泉として知られる、六ヶ所温泉。源泉の深さは2714m、濃厚なお湯は強食塩泉、湯の花も見られる本格的な温泉です。



The Rokkasho Hot Spring is known as the hot spring that has the greatest depth in Japan (2,714 meters). It is a highly saline spring, where you can see yunobana (flowers of sulfur or mineral deposits).

# ROKKASHO

Key industries

主要産業

Agriculture

# 農業

土地を切り拓いた先人たちの偉功はいまに受け継がれ、農業は漁業と並ぶ六ヶ所村の基幹産業となっています。

Along with fishery, agriculture is one of Rokkasho Village's key industries thanks to our ancestors' who achieved the cultivation of the land.

The soil and climate of Rokkasho Village are suitable for growing root vegetables, such as potato, burdock, Japanese white radish and carrot. Although rice growing has also been practiced since the early Showa era, rice paddy fields are on the decrease in the village. Nagaimo yams, of which Aomori Prefecture is the largest producer, are one of the best-known products of Rokkasho Village. They are not only shipped across Japan but also used for confectionery and shochu produced at plants within the village, which, in fact, are very popular.

## ジャガイモの花と風車

この土地に合った、寒さに強い根菜類が栽培されている。

Farmers grow cold-resistant root vegetables that suit the climate of the region.



マセ（北東風）の影響を受ける六ヶ所村では、ジャガイモなど、冷害に強い作物の栽培に根菜類に適していることもあり、いも類のほかに、ごぼうや大根、にんじんなどが生産されています。六ヶ所村南側の地域では、昭和の時代に入ってから稲作も行われてきましたが、転作奨励の影響で水田面積は減少傾向にあります。

青森県が、出荷量・作付面積ともに全国一を誇る長芋は、六ヶ所村の特産品でもあります。生産された長芋は、全国各地に出荷されているほか、村内の工場でお菓子や焼酎などに加工され、好評を博しています。



All members of farmer families and neighbors join forces to harvest rice.

## 稲刈り

稲刈りは家族や、農家の仲間が総出で助け合いながら行われる。



Nagaimo yams, which have now become one of Rokkasho Village's best-known products, are picked carefully one by one.

## 長芋

六ヶ所村の特産品にまで成長した栄養豊富な長芋は、一つずつ丁寧に収穫される。



# 漁業

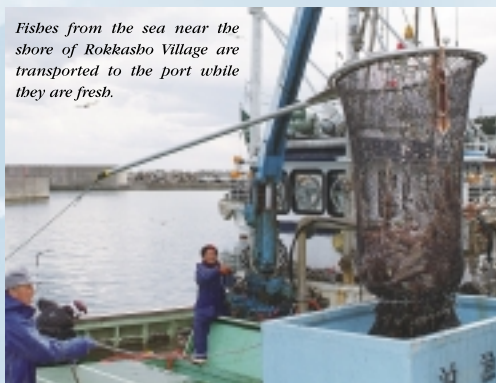
Fisbery

獲る漁業から育てる漁業へ。  
六ヶ所村は海の恵みを次の世代へとつないでいきます。

By making a shift in fishing practice from “catching” to “growing,” Rokkasho Village passes on the blessings of the sea to future generations.



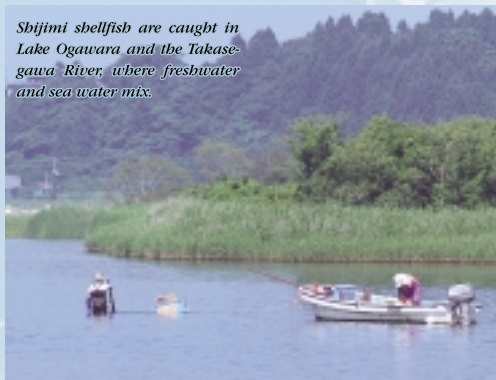
Fishes from the sea near the shore of Rokkasho Village are transported to the port while they are fresh.



### 水揚げされた魚

六ヶ所村近海で獲れた魚は新鮮なまま港に運び込まれる。

Sbijiimi shellfish are caught in Lake Ogawara and the Takasegawa River, where freshwater and sea water mix.



### シジミ漁

淡水と海水が混じる小川原湖と高瀬川ではシジミ漁が行われている。

**暖** 流と寒流が交わる六ヶ所近海は、魚介類の宝庫です。夏から秋にかけてはスルメイカ、サバなどが水揚げされるほか、冬にはヤリイカ漁で賑わいます。また、六ヶ所村は沼や川を有するため、サケやマス、ウグイなど、海から川・沼へ回遊する魚もいます。マテ漁はなくなりましたが、高瀬川、小川原湖ではシジミ漁やワカサギ漁が今も行われています。

泊地区の磯浜では上質なウニ、アワビが収獲されるほか、昆布やわかめ、ふのりなどの海藻類も豊富です。さらに次の世代へつなぐため、シジミの稚貝を放流したり、ウニやアワビの種苗を育成するなど、「育てる漁業」も展開しています。

The sea near Rokkasho Village is situated at the meeting point of warm and cold currents, where fish and shellfish are abundant. It is home to hordes of sagittated calamaries and mackerels and attracts many yari-ika squid fishermen in winter. Migratory fish that migrate from the sea to rivers/marshes, such as salmon and trout are also fished, in addition to sbijiimi shellfish and pond smelt. Moreover, sea urchin, abalone, kelp and wakame seaweed are also caught off the shore in the northern part of the village. In addition to these “catching” fishing practices, recent years have seen the rise of the “growing” fishing, such as releasing young shellfish.

港の様子  
漁から帰った船が入ると、港はあわたたしくなる。

When fishing boats come back, the port becomes bustling and lively.



Stock Farming and Forestry

六ヶ所村の広大な自然は、畜産や林業にもその恩恵をもたらしています。

The abundance of nature in Rokkasho Village also benefits the stock farming and forestry industries.

# 畜産・林業



Harvesting grass from a vast expanse of land is an important part of the work of dairy farmers.

### 牧草の収穫

広大な土地から牧草を収穫することも、酪農家の大切な仕事。

Cows bred in a rich natural environment provide us with high quality nourishment. A dairy processing plant in the village produce the village's original brand products, which are favorably accepted by consumers inside and outside the prefecture. The village also implements tree-planting activities, as quality trees are expected to have positive impacts on geology and water quality, thereby benefiting agriculture and fishery.

響するため、農業・漁業にとっても重要な意味をもっています。

を与えてくれます。

## 昔

から名馬の産地として知られるこの地方では、畜産が一次産業の一端を担ってき

ました。穏やかな自然のなかでのびと育った牛は、私たちに良質な栄養

を村内にある乳製品の加工場では、独自のブランド商品も生産され、県内外の消費者からも支持を集めています。さらに六ヶ所村では、植樹も行っています。地域が質の良い木を有することは、地盤の強さ、海へ流れ出る水質にも影響するため、農業・漁業にとっても重要な意味をもっています。



Small initiatives by individual people contribute to protecting the region.

植樹  
一人ひとりの小さな活動が、地域を守ることにつながっている。



Highly nutritious milk is only produced on a rich soil.

### 乳牛

栄養たっぷりの牛乳は、豊かな大地だからこそ育まれる。

# 商工業

Commerce and Manufacture



一次産業が支えてきた村は、商工業との融合により、新しい流れを生み出しています。

After being dominated by primary industries for many years, the village is moving into a new phase, with commerce and manufacture growing.

This plant produces "Rokushu," a shochu made from nagaimo yam, a signature agricultural product of the village. Plant tours are available to visitors.

## 六ヶ所醸造工場

特産の長芋を使用した焼酎「六趣」を生産する工場。建物内を見学することもできます。



Toyota Floritech Co., Ltd.

株トヨタフローリテック

Obuchi Lake Town has the shopping mall REEV. In addition to processing the village's signature agricultural product, nagaimo yam, and dairy products at processing plants in the village, Rokkasho Village also produces processed seafood products using squids, salmon, other fish and shellfish. At the same time, the village also contributes to increasing employment opportunities and facilitating the growth of businesses in the region by providing companies based inside and outside the prefecture with sites for factories.

また、青森県内外からの企業の工場立地を受け入れることで、周辺地域の雇用の拡大と企業の発展に貢献していきます。

また、青森県内外からの企業の工場立地を受け入れることで、周辺地域の雇用の拡大と企業の発展に貢献していきます。

## 村

内の各企業は、地域に根ざした足腰の強い商工業を目指しています。尾駮レイクタウンには、村民の利便性を考え開設されたショッピングモール「リーブ」があります。村内には、特産品である長芋や乳製品を加工する工場もあり、イカやサケ、ヒラメなどを加工した商品も増えたことで、より多くの人に六ヶ所村の自然の恵みを味わってもらうことができるようになりました。



HOEI INDUSTRIES, Ltd.

株青森宝栄工業株



Nagaki Seiki Co., Ltd. Rokkasho factory

株永木精機 六ヶ所村工場



Shopping mall REEV

株リーブ

# エネルギー・科学

六ヶ所村はいま、エネルギー・科学技術の分野において、国内のみならず世界にもその名を知られるようになりました。村はこれから、国際科学技術都市の確立を目指し、ますます発展していきます。

By now, Rokkasho Village has gained a high profile in the fields of energy and technology, not only nationally but also internationally. The village will continue to grow towards the establishment of an international town of technology.



## 日本原燃(株)

Japan Nuclear Fuel Limited



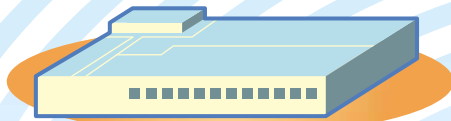
### 六

ヶ所村には、原子力発電に利用された使用済ウラン燃料を再利用するための原子燃料サイクル施設があります。原子力発電は現在、日本の電気使用量の3分の1をまかなっており、発電の過程で二酸化炭素を排出しないことから、地球環境にやさしいエネルギーとして注目されています。他の化石燃料と同じように、ウラン資源に

も限りがありますが、石油、石炭などと違い、原子力発電所で使い終えた使用済燃料は、再処理することで、もう一度燃料として利用できます。ウランを再利用すれば、エネルギーを長期にわたり安定供給することができます。資源の乏しい日本では、原子燃料のリサイクルが、将来の暮らしを支える大切な役割を果たしています。

## ウラン濃縮工場

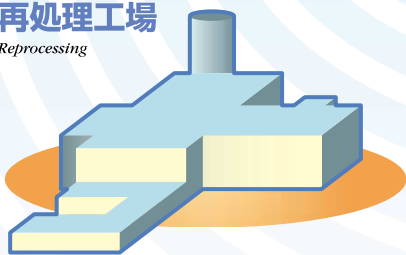
Uranium Enrichment



原子力発電の燃料であるウランには燃える（核分裂しやすい）“ウラン235”と燃えない（核分裂しにくい）“ウラン238”があります。天然のウランに含まれているウラン235はわずかに0.7%程度。ウラン濃縮工場では、天然ウランの中のウラン235の割合を3～5%まで濃縮し、燃料として使えるようにしています。

## 再処理工場

Reprocessing



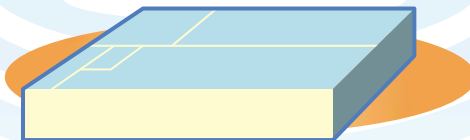
原子力発電所で使われたウラン燃料の中には、燃え残りのウランと新しくできたプルトニウムがあります。これらを再びMOX燃料（Mixed Oxide Fuel）の原料として使えるように化学的な処理するのが再処理工場です。つまり、再処理工場は準国産エネルギー資源の創出の場であり、原子燃料サイクルの要とも言えます。

サイクル

# 環の完結を目指し エネルギーの 長期安定供給を

## 低レベル放射性廃棄物 埋設センター

Low-Level Radioactive Waste Disposal



原子力発電所では、運転や定期検査などにもなって放射能レベルの低い“低レベル放射性廃棄物”が発生します。液体状のものは煮つめて水分を除き、燃えるものは焼却して容量を減らした後、プラスチックやセメントなどでドラム缶に固化します（1号埋設設備対象廃棄体）。また、固体状廃棄物は切断・圧縮・溶融などの処理を行い、セメント系充てん材（モルタル）でドラム缶に一体となるよう固化します（2号埋設設備対象廃棄体）。低レベル放射性廃棄物埋設センターでは、全国の原子力発電所から集まってくるこれらのドラム缶を厳しい安全基準に基づき、埋設・管理を行います。

## MOX燃料工場

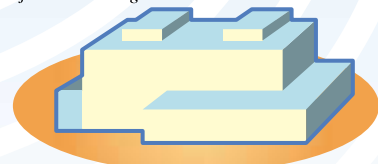
MOX Fuel Fabrication



再処理工場で取り出された、ウラン・プルトニウム混合酸化物粉末を原料に、軽水炉用MOX燃料に加工します。MOXとは、Mixed（混合）OXide（酸化物）の略です。

## 高レベル放射性廃棄物 貯蔵管理センター

Vitrified Waste Storage



使用済燃料の再処理の際に発生する廃液をガラスに混ぜ合わせたものをキャニスターという特殊な容器に密封します（これをガラス固化体という）。これらを安全に冷却し貯蔵管理するのが、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターです。フランス・イギリスから返還されるガラス固化体を冷却・貯蔵管理しています。

エネルギー・科学

Energy and Technology



General meeting area



Functional groups area

合同対策協議会全体会議エリア(上)と機能班スペース(下)



Nuclear Disaster Prevention Research Plaza

原子力防災研究プラザ



Disaster prevention exercise

防災訓練の様子



Nuclear emergency training

原子力防災研修

**原**子力施設では、原子力災害が起これないよう様々な措置がされていますが、万が一事故が発生した場合には、県及び村をはじめとする防災関係機関（警察・消防・医療機関等）が国・事業者等と協力して迅速に対応します。「原子力防災研究プラザ」2階には、その防災活動の拠点となるオフサイトセンターが設置され、様々な応急対策を実施することになっています。さらに同プラザでは、地域の防災関係機関への原子力防災に関する研修及び調査研究を行うとともに、さまざまな原子力防災の機材を整備しています。

その他に村では、県と協力し、地元住民が参加する防災訓練を定期的に実施し、原子力防災についての知識の普及に努めるとともに、防災資機材を整備しています。

# 安全管理・防災体制

Safety Measures and  
Disaster Prevention

# 国際核融合研究施設

International Fusion Research Facility

エネルギー・科学

Energy and Technology

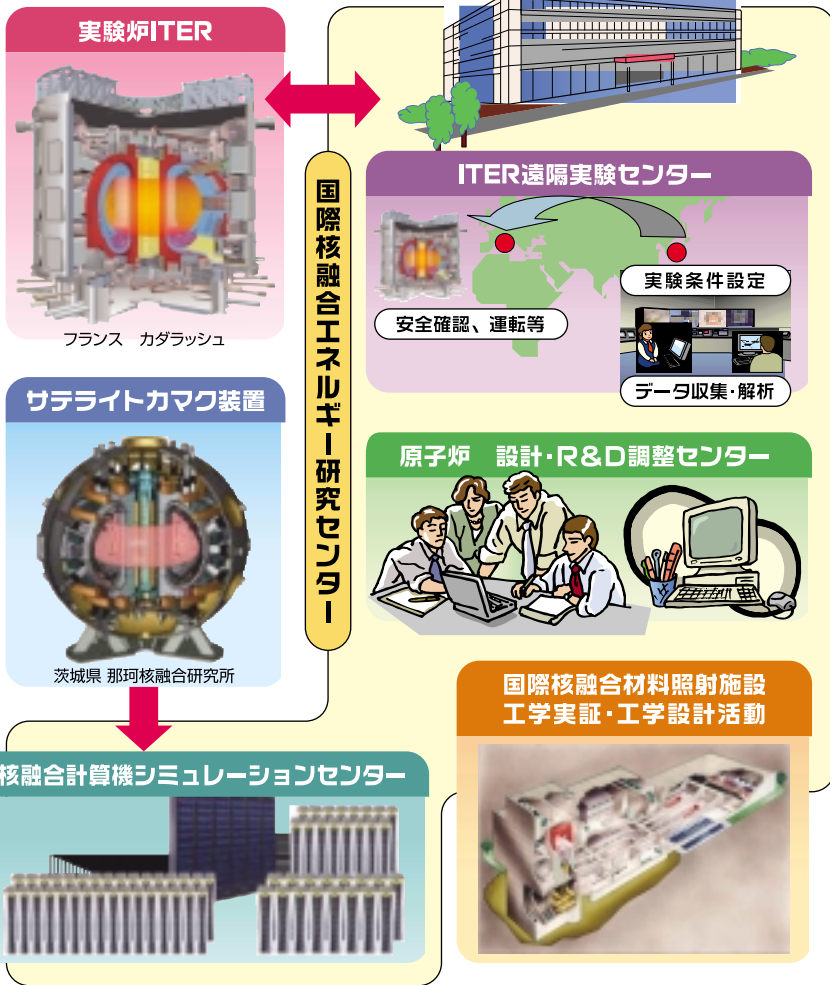
## 核

融合エネルギーの開発を目指す国際共同プロジェクトITER計画（注）が進められています。原型炉（ITERの次世代炉）実現に向け、日欧核融合協力協定により、「幅広いアプローチ」が実施され、本村には、国際核融合エネルギー研究センターが建設されることにも、国際核融合材料照射施設（IFMIF）の工学実証・設計活動が行われます。国際核融合エネルギー研究センターには、ITER遠隔実験センター、核融合計算

シミュレーションセンター、原型炉設計R&D調整センターが整備され、核融合エネルギーの早期実現のための研究開発が実施されます。

注「ITER」は国際熱核融合実験炉（International Thermonuclear Experimental Reactor）の英語の略で、イーターと読みます。日本・欧州連合（EU）・ロシア・米国・韓国・中国・インドの7極により進められています。

ITER遠隔実験センター、核融合計算



# 法人 環境科学技術研究所

Institute for Environmental Sciences

## 環

環境科学技術研究所は、「原子力と環境のかかわり」をテーマに、主に放射線や放射線物質の環境中における分布と、生物への影響を調査研究する施設です。研究活動で得られた結果や情報は、地域住民へ公開するほか、内外の関係機関へも広く提供します。

また、国際的な研究協力の重要性にも対応し、海外の研究機関との交流を積極的に推進しています。

原子力の環境安全研究に加え、地球環境問題や農畜水産業など、地域産業の振興に貢献できる研究を目指しています。



### 研究活動内容

#### 環境動態研究部

放射線（能）の環境中における分布と動きに関する調査研究

自然界にある放射線や人間が作り出す放射性物質の、環境中での分布や化学変化を調べ、生態系への影響や環境保全に関する基本情報を得る

#### 環境シミュレーション研究部

閉鎖型生態系実験施設による物質循環に関する調査研究

エネルギーと情報以外、外部との物質のやり取りを行わない閉鎖型生態系実験施設（ミニ地球）の開発と、ミニ地球を使った生態系中での放射性物質等の動きを研究

#### 生物影響研究部

低線量放射線の生物影響に関する調査研究

低い線量の放射線が、寿命に与える影響や子孫に与える影響などについての、マウスを用いた実証的な研究

#### 広報・研究情報室

原子力と環境のかかわりに関する知識の普及活動

地域との連携を重視した理科教室の開催、環境研ミニ百科の発行など、放射線に係わる基礎知識の普及啓蒙活動や成果発表会、国際シンポジウムの開催等

# 風力発電

Windfarm



## 風

力発電は、地球温暖化の原因とされる排気ガスや二酸化炭素、その他廃棄物を排出しない、クリーンなエネルギーです。六ヶ所村はヤマセ(北東風)や津軽半島からの西風も吹くため、安定した風力発電を行える環境にあります。この環境を活かして現在、エコ・パワー(株)と六ヶ所村風力開発(株)の2社が立地し、風力発電を行っています。高さおよそ100メートル(羽の先端まで)もの風車が建ち並ぶ壮大な風景は、今や六ヶ所村のシンボルになっています。



エネルギー・科学

Energy and Technology

# 石油備蓄基地

Oil Storage



## 資

源のほとんどを海外からの輸入に頼っている日本では、資源の不足により国内の産業活動や国民の生活に大きな支障をきたすおそれがあります。このような不測の事態に備えるため、石油をあらかじめ国内に蓄えておく施設が石油備蓄基地です。

六ヶ所村にある基地は、わが国の石油備蓄基地の第1号として1983年に操業しました。51基の原油タンクに日本の石油消費量の約1週間分を備蓄しています。石油の備蓄にあたっては周到な安全対策が行われ、運転管理にも厳重な注意が払われています。また、地域の消防・海上保安機関等とも防災訓練を実施し万全を期しています。



防災訓練の様子

# クリスタルバレイ

Crystal Valley

エネルギー・科学

Energy and Technology

## 六

ヶ所村には、液晶関連産業を中心としたFPD(フラット・パネル・ディスプレイ)産業の拠点形成を目指す「クリスタルバレイ構想」があります。21世紀の世界経済の発展を担うIT産業、その基幹産業であるFPD関連産業の生産工場の集積地として各分野から注目されています。FPD産業集積ゾーンや住宅ゾーン、八戸FAZ港、幹線道路網、東北縦貫自動車道など、産業に必要な情報、交通幹線の充実をはじめ、高度な技術・技能者の育成、さらに先端技術の研究開発を行える環境を整備することによって、国際的な産業拠点の形成を目指します。

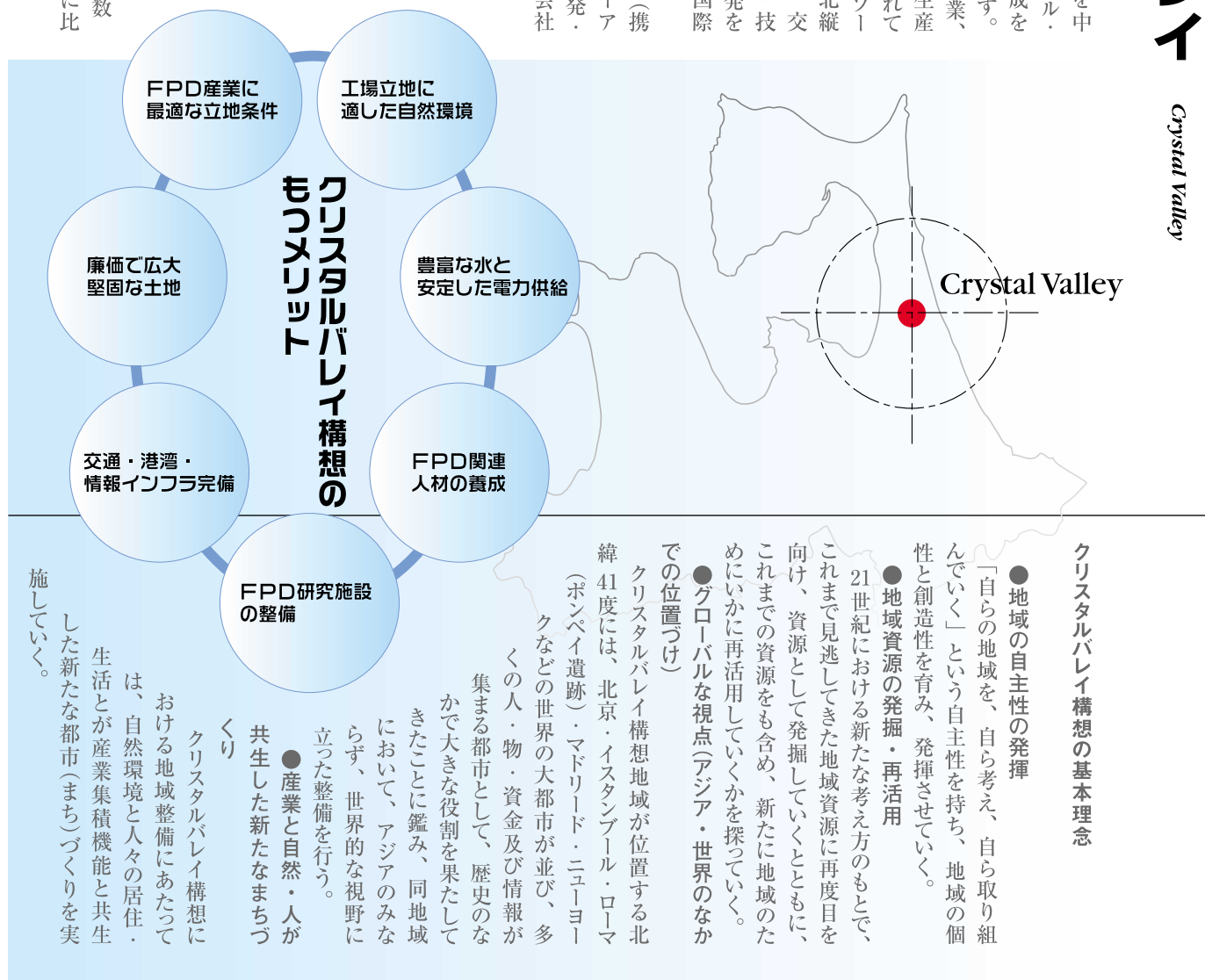
現在、反射型・透過型カラーフィルタ(携帯電話、PDA用)を生産しているエーアイエス株式会社と、有機ELパネルの開発・製造などを行っている東北デバイス株式会社が立地しています。

### 地勢

周辺地域は、森林に囲まれた緑豊かな自然環境と湖沼群。地質は、概ね表層2〜3mはN値5程度のローム層、その下層は良好な砂質地盤(N値30以上)が続いており、大きな地耐力を有している。

### 気候

夏は冷涼でしぎやすく、冬は太平洋側に位置していることから積雪も比較的少なく晴れの日が多い。雷鳴回数は、年間平均で13回程度と他の地域に比べかなり少ない。



クリスタルバレイ構想の基本理念

●地域の自主性の発揮  
「自らの地域を、自ら考え、自ら取り組んでいく」という自主性を持ち、地域の個性と創造性を育み、発揮させていく。

●地域資源の発掘・再活用

21世紀における新たな考え方のもとで、これまで見逃してきた地域資源に再度目を向け、資源として発掘していくとともに、これまでの資源をも含め、新たに地域のためにいかに再活用していくかを探っていく。

●グローバルな視点(アジア・世界のなかでの位置づけ)  
クリスタルバレイ構想地域が位置する北緯41度には、北京・イスタンブール・ローマ(ポンペイ遺跡)・マドリッド・ニューヨークなどの世界の大都市が並び、多くの人・物・資金及び情報が集まる都市として、歴史のなかで大きな役割を果たしてきたことに鑑み、同地域において、アジアのみならず、世界的な視野に立った整備を行う。

●産業と自然・人が共生した新たなまちづくり  
クリスタルバレイ構想における地域整備にあたっては、自然環境と人々の居住・生活とが産業集積機能と共生した新たな都市(まち)づくりを

施していく。



TOHOKU DEVICE Co., Ltd. Aomori factory

東北デバイス(株) 青森工場



AIS Corporation

エーアイエス株



R  
O  
K  
K  
A  
S  
H  
O

aleidoscope

六ヶ所村に来て見えたもの

## Kaleidoscope

"What seemed that it comes to Rokkasho village"

## 他所から見た六ヶ所村

古川 六ヶ所は隣村だからもちろん知ってはいたけど、あまり行きたくないところではなかったですね。教員はいろいろな地域へ異動があるんですが、六ヶ所に決まったときは、ちょっとショックでした。仕事だからとりあえずは頑張ろうと思って来たんですが、その年の運動会で、子どもたちの姿にやられてしまったんです。男の子の元気、女の子のおおらかさや情熱。そういうものを今までの学校で見たことなかった。もうずっとこの子たちと暮らしたいと思ってしまうって、それが始まりですね。

石田 私はサラリーマンですから、辞令一枚で何処にも行かなければなりません。六ヶ所村の名前だけは知っていたものの、どんな所なのか見当もつかない。一度目にこちらへの辞令が出た平成元年当時は、子供も小さく、いわゆる社宅住まいの転勤族でしたが、家族で過ごした4年間は、まさに文化的にも環境的にも異次元の世界でした。それから15年程経った2度目の辞令の時には既に居を名古屋に構え、子供も大学生。辞令のことを家族に伝えると、家族全員「えっ！」と驚きつつも「いいよねえ」の言葉でした。また、六ヶ所は私の仕事にとってもいわば原点の場所なんです。一度目の4年間、一軒一軒お宅を伺ってお話をさせていただきました。その後、名古屋や東京で広報業務に従事し、六ヶ所村等の情報を全国のみならず世界にまで発信させていただきました。その原体験が六ヶ所なの

## 六ヶ所村に来て見えたもの

Round-table Discussion

昨今、六ヶ所村では村外出身の会社員や研究員、外国人の姿も見られるようになった。彼らはそれぞれ何らかの理由を持ち、見えない引力に引かれるようにこの地に集まった。

異文化の光を交差させる村はまるで万華鏡のようにきらめき、新しい形を見せてくれる。彼らが見た六ヶ所村の対外的な魅力と、その将来性について語り合ってもらった。

Today, Rokkasho Village has increasing numbers of non-native villagers, including company employees, researchers and even non-Japanese people. They have all come to this village for different reasons, as if they had been drawn to the village by some sort of invisible gravity. Rokkasho Village, in which lights of different cultures intersect, now takes on a kaleidoscopic sparkle and begins to assume new forms. Several non-native villagers were invited to talk about the attractiveness of Rokkasho Village, as well as the potential of the village to outsiders.

## ● 参加メンバー

荒谷美智

石田芳樹

チョン・ウンジン

ムズィオル・ドロテア

石澤 健

古川恵子

菊池 勝



荒谷美智 (Michi Aratani)

73歳 東京生まれ、その後埼玉に移住。来村13年 三沢市在住。NPO法人放射線教育フォーラム幹事。東京大学原子核研究所や理化学研究所核化学研究室での長年にわたる放射能に関する研究の経験を六ヶ所村のまちづくりに活かすために定年後に来村。環境研の地域協力担当として10年、その後、文化協会で3年目となる。

from  
Saitama

## 六ヶ所村 座談会

です。そして大きな節目となる再処理工場の操業に向けた今、こうしてもう一度こちらで仕事ができる……とても感慨深いものがあります。今回は単身赴任ですが、先のお盆休みには、家族の希望もあり名古屋への帰省を取り止めて、家族を呼び寄せました。

チョン 私たちは日本政府が実施しているJETプログラムというのに参加して、この村にきました。最初は自国の大使館で試験を受けるんですが、受かったときにはうれしくて、どこに派遣されるとかそんなことは一切考え

ませんでした。だから六ヶ所にいくと教えられたときは、え？どこにあるの？という感じで。日本は何度か旅行しましたけど、青森には来たことがなかったし、りんごや雪のイメージしかありませんでした。六ヶ所村は、人口は約12000人。当時私の住んでいた団地が14000人いましたから、一体どんなところなのかと思いました。私はずっと街で暮らしていたし、田舎に親戚もいないので、全く想像がつかなくて。それでインターネットで検索してみたものの核とか原発とかいっぱい出てくるし。ちょっと戸惑いました。

**ドロテア** 私も似た感想です。来る前にインターネットで調べたらやっぱり原燃のことが多くて。でも来てみたらそんなこともなくて、安全な所だと思いました。村の冬は寒いと言われますけど、ベルリンはマイナス30度にまでなりますから、そんなに心配もしていません。

**荒谷** 六ヶ所は勇気のある村だという印象がありました。色々と議論して核燃を受け入れたのだらうなあと思います。私自身が長い間そういった研究にかかわってきましたから、何かお役に立ちたいという思いで、核燃の村だ



石田芳樹 (Yoshiki Ishida)

50歳 三重県四日市生まれ。来村平成元年～4年、16年～現在 三沢市在住。日本原燃(株)広報・地域交流室広報部長。一度目の来村は、日本で初めての再処理工場の立地に際し、不安感を抱く村民のみなさんの理解を得るために、一軒一軒訪ね歩く毎日だった。二度目は再処理工場が完成し、ウラン試験が始まる頃。



## これからは「1」足す「1」が「3」になるような交流の仕方が必要ではないかと...

**菊池** 私の妻が六ヶ所村出身で、たまにこちらに来ていました。最初の印象は牧場の匂いですかね。なかなかいい匂いだと思いますよ。私自身は津軽の出身で、りんご畑があるのが当たり前だと思って暮らしてきていたのですが、こちらへ来て衝撃的だったのは、果実が実らない土地であるということ。

それと同じ青森県なのに天気が全然違うこと。津軽が雨でもこちらはカラッと晴れていますから。

### 六ヶ所村の魅力と欠点

**古川** やつぱり一番の魅力は人ですよ。情熱をもった人がたくさんいる。役場に何かお願いすると10分後にはもう来てくれる。子どもたちのためならなんでもしてやろうっていう気構えを持っていらっしゃる。普通は役場って、いわゆるお役所的ですよね。だけどこの役場は本当に役に立つ役場なんです。予算が足りなくても、子どもたちのためなら、相談しに来てつて言ってくれる。それから、環境研さんや原燃さんに出張授業しに来てつてお願いしたら、その日のうちにきてくれますから。こんなに恵まれたところはないと思います。ただ残念なのは、恵まれてることに子どもたちが気づいていない。

村のみんなの思いを感じ取つて、もっと飛躍してやろう、もっと上を目指そうという考えにまだ至っていないようですね。

**荒谷** 私のところに勉強しに来る方の多くが女性で、しかも中高年の方々なんですけども、学ぼうとするやる気がすごい。もう自腹を切つても勉強なさる方たちですから。それも、次の世代に伝えよう、そのために知つておこうと。だから古川先生が、魅力は「人」つておつしやつたときに私も、そう思いました。私の所に勉強しにくる中高年の方は、これまで大変なご苦労をなさつてきた、その点、村が発展してからは、環境が豊かになり、その方たちの若い時代から見れば大変恵まれている。若い方たちがそういったところに少し甘えている感じがします。不安な点を言うのであれば、その中高年の方たちの次が続くのかどうかですね。

**菊池** 私の周りにも、その開拓の時代に入植してきた方が沢山いますけども、どの方も個性が強い。やつぱりその次、またその次の世代になると、弱くなつていような気もするかな。だけど、ホテルに勤めていような人を見てきましたけど、六ヶ所の人は純粋ですね。子どもたちを見ていると、おおらかで、まっすぐ育つて。それがすごくいいと思いました。

**石田** 青森県のみならず、六ヶ所村でも文化が違う、言葉も違う。だからこそ「1」足す「1」が「3」になるような交流の仕方もあるの

ではないかと思えます。よく津軽と南部の特長の話をされますが、競争心だけではなくお互いを補うような方法を見出せたらいいと思います。六ヶ所で言えば、海沿いは漁業、内陸の方に行つたら農業、酪農。なんでもあるのになつとつが別のものとして独立している。それが、相互乗り入れというんですか、そういった相互交流の総合力が備われば、「1」足す「1」が「3」になれるのかなと思います。

**古川** それは私もよく感じます。

**石田** 村でお祭りをやるときに庄内の酪農の方がテントを出された。泊の方は魚を出しておられて今はそれが定着して、文化になりつつあります。それを今度は、近隣の町、ひいては県全体でそれぞれの特性、役割を出しあえればいいのではないかなと。ベースのパワーはすごいものがありますから。



# 野菜がとれたら電話がかかってきて、 ごぼういららない？とか、 長芋食べない？とか聞いてくれて

**古川** 石田さんがおっしゃることは学校教育にもいえると思います。今はまだ、それぞれの地域がそれぞれのことをやっている。もったいないですね。各学校、地域が相互に切磋琢磨し合えるといいなと。これから進むべき道は産業と全く同じ。

**ドロテア** 私が感じたのは六ヶ所の人は話しやすいということ。ここに来る前は東京に住んでいましたが、人も多いいせいか厳しいところだと感じました。話もあまり聞いてもらえないし。六ヶ所の人は逆にこちらがなにも言わなくても気にかけてくれるし、話しかけてくれます。

**チヨン** 私はここに来る前は、2ヶ月間九州にいましたが、六ヶ所のようにしっかりした共同体の中で暮すのは初めてです。外国人だからかもしれないが、この人たちは、不便はないか、困ったことはないかといつも気を使ってくれます。野菜がとれたら電話がかかってきて、ごぼういらない？とか、長芋食べない？とか聞いてくれて、



**チヨン・ウンジン** (Tyon Unjin)

24歳 韓国プサン出身 来村7ヶ月 2006年4月から交流員として勤務。尾駈地区在住。国際交流員 村の交流先である、韓国のヤンヤンとの橋渡しや、スワニー講座で韓国語を教えるなどしている。



## 六ヶ所村のバイタリテ

**チヨン** 韓国の人はエネルギーシユだと言われますが、私から見ると東北の人も負けてないと思います。というより同じかな。学校で知

食べきれないほどもらうことがよくあります。そんな部分で感動しています。

な頼りない感じがしますが、泊の方や庄内の酪農などをやってる方々は強いし、頼もしい。

**石澤** 今、六ヶ所の風力発電所に従業員が9人いますが、一人は女性です。彼女には最初、事務員として入って

いただいたんですけども、男性とおんなじ仕事をさせてくれと申し出がありました。同じ仕事となりまして、65メートルのあの大きな風車に登ることもあるんです。でもそういうことも同じようにやらせてくれと。私としては、東北の人は控えめなはずだったんだけど、なんて思ってたんですが、皆さんの話を聞くと女性は別のようですね。

**石田** 苦境に立たされたときに、うな垂れるのではなくて、よしやろう！と。そうすると周りの男としても、こりやがんばらなきゃ、となります。

## 言葉の違い

**石澤** うちの職場で働いている地元六ヶ所の人たちも、風力発電にかけてはバイオニアですから、全国へ指導に行くことがあります。そのときは、言葉が違うから大丈夫かなと思うようなんですが、急に変わることもできないからそのまま話します。そうすると、逆に方言がきっかけで行く先々の方たちと仲良くなれることがあるようですよ。



**石澤 健** (Takashi Ishizawa)

49歳 山形県出身 東京都在住。日本風力開発(株)業務本部 業務部長。茨城の石油コンビナートで働いていたときに、何度か六ヶ所の石油備蓄基地に来ることがあった。近年は日本風力開発の社員として頻繁に六ヶ所へ来村。





古川 恵子 (Keiko Furukawa)

59歳 青森県おいらせ町出身  
来村26年 尾駈地区在住。  
六ヶ所村立第一中学校校長。  
教育者として、グローバルな考  
えを持ち、村の産業を伸ばして  
いける人材を育成することを目標  
に日々教育に尽力している。



務所に戻って村出身の社員に訳してくれて。その社員は笑いながら教えてくれました。

**ドロテア** そう。私たちが母国で勉強してきた日本語とは全然違いますよ。

**チヨン** 「だべー」とかなら聞き取れるようになったんですけど、役場の方にもすごく訛ってる人はいます。だからそういう時は、必死に表情をうかがいながら返事をします。

**ドロテア** 全然わからないときもあります。だから日本語を覚えたほかに、方言も勉強しないと。ノートに方言を書いて、その横に日本語で意味を書いて。

**それぞれが思う六ヶ所村の魅力**

**石田** 空が広いんですよ六ヶ所は。たとえば仕事で遅くなると、夜に車を運転する。すると月がずーっと見えてる。あるいはイカ釣り船の反射光が太平洋側に見える。これってすごいことです。空が広いっていうのはこういうこと。きつとびいにもないと思いますよ。

**石澤** 六ヶ所村に二又という、風車が建っている所があるんですが、あの辺を見ると北海道みたいですよ。ね。

風車の建つ所はだいたい風景の良い場所が多いんですよ。もともと風力発電はヨーロッパが元で、六ヶ所の風車もドイツから輸入しているんです。向こうでもやはり二又のような丘陵地に建てられていることが多いです。地平線といいますが、丘の稜線とその上の空がほんとうにきれいです。

**チヨン** 景色や自然もそうですが、六ヶ所村つて子どもの数が少ないのに、小学生はオーストラリア、中学生はアメリカに行けるんですよ。それから高校生は韓国に行くんです。そういう国際交流や、子供たちにグローバルな体験をさせられるのも、大きな魅力かなって思います。

**食の魅力**

**古川** 食べ物については考えが変まりましたよ。こっちに来るまでウニは生臭いもの、アワビは硬いものと思っていたんです。それが泊で食べたウニは新鮮で甘い。アワビは獲れたてなら包丁で切らなくても食べられると知りました。

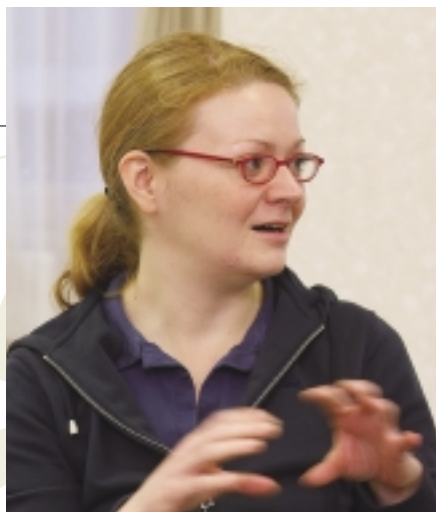
**菊池** びつくりしたのは泊のイカ。丸焼きにしちゃうんです。津軽の

方では、ちゃんと内臓とって洗うけど、こっちでバーベキューやると、イカの丸焼きに魚も丸焼き。あの内臓のことゴロつていますが、食べてみると結構美味しいですね。

**石田** 確かに美味しいですよ。でも漁師さんが持つて行けつて言ってくれるんですが、その量が多すぎて…。15年前にも家族4人分だつて、新鮮なサケを丸々2尾渡されて。美味しく頂きましたけども。これ二次加工できたら長く楽しめるのになつて思つたのを憶えています。そしたら15年たつたら、サケやヒラメが薫製になつてるでしょ。長芋は漬物とか焼酎になつてるし。こういうことをもつともつとすすめていけばいいですよ。

**六ヶ所村のビジネスと未来**

**荒谷** 私がこちらへ来た頃にちょうど、「六ヶ所村史」が完成しまして、勉強させて頂きました。核燃の施設を誘致する際に、本当に全体で議論をなさつたんですね。最初は、そんなに議論をして決定したとは思っていません。だけど実際は敵味方に分かれて相当な議論をしたようです。ですから、本当に勇気のある決断をなさつたんだなと。よく、核のゴミを押し付けられたなどと言われますが、それは違う。主体的な議論を経て誘致なさつたんですから、それを踏まえて発展の礎にして頂けたらと思います。



ムズィオル・ドロテア (Muziul Dorotea)

27歳 ドイツベルリン出身 来村3ヶ月 2006年8月から交流員として勤務。尾駈地区在住。国際交流員。村の友好都市であるドイツヴァーレン市との橋渡しを手伝っている。また、スワニー講座で英語を教えている。



**ドロテア** 私も六ヶ所は若い人が遊べる場所が少ないと思います。人同士が会っておしゃべりできる場所。そういう場所があればもっと若い人も楽しめる街になるんじゃないかと思っています。

**チヨン** そうですね、今は仕事終わつても行くところがないので。

**石澤** さきほど子どもたちへの対応が速いと話していましたが、我々のような事業者に対しては迅速に対応してくれず。風車を建てる土地に関する大変な手続きも、工事のときも、村の人たちは面倒がらずに対応してくれます。ほかの地域より行政の対応も速いですよ。あと、

原燃さんの存在は大きいですね。機械が故障したり、人手が欲しい、整備をお願いしたいというときなど、六ヶ所村では原燃さんの関連会社にいらつしゃる技術者の方が、助けてくれることがあります。東京から技術者を呼ぶといつても時間が

# 六ヶ所には観光の目玉になるものが眠っている。 これからは、観光の分野にも目を向けていけば……。



**菊池 勝** (Masaru Kikuchi)

46歳 青森県平川市出身 元ホテルマン。来村7年 陸奥地区在住。酪農家 陸奥自治会行政連絡員 六ヶ所認定農業者協議会理事。奥さんが六ヶ所出身だったということが来村のきっかけ。初めはどうしていいかわからなかったが、酪農家仲間の助力で今の自分があると語る。



は、観光の分野にも目を向けていけば……。酪農家の立場から言わせていただくと、酪農体験でも良いと思いますし、景観もそうです。二又のあたり、風車がまわってるんですけれども、すごく景色が良くて、写真を撮っている人もよく見かけます。やっぱりそういう長所は、どんなに伸ばしていったきたい。それから、フランスの方では原燃施設の手前に牛がのんびり放牧されています。そういう景色で日本にないですよ。農業とそういう施設の融合といましようか、それはみんなやっていかねければいけないことかなと思います。人口の減少がないように言われていますが、実際のところ子供の数は減っています。40代、50代の男性にお嫁さんがいない。このままいくと、今の若い方たちも同じ状況に置かれてしまうのではないかと思います。

び場がない。小中学生にとっては遊べるところは結構ありますが。

**古川** 学校で子どもたちが、六ヶ所にあるものを活かして、もっと楽しい村にできないかと話し合ったりしています。やっぱり中学生くらいになると今の六ヶ所はつまらないと感じてくるみたいですね。

**菊池** ろっかぼつかとか、いい施設はあるんですけどね。今後どう発展するんでしょうね。

**古川** 六趣工場とかね、いろいろあるのになんで道の駅はできないんでしょうかね。

**菊池** それ不思議ですよ。

**石田** たとえば、どんな吹雪でもここにくれば楽しめる、むしろ吹雪を楽しめるような何かがあったら。エスキモーが使ってるイグルーとかね。氷の中でキャンプするみたいに。そういうところにアイデアを出し合つて、無理だよなんてあきらめずに、どんなアイデアを出して付加していったら、「1」足す

**古川** 六ヶ所の未来はやはり子どもたちにかかっていると思います。それからその親御さんたちにかかっている。もともと子どもたちと対話をしてもらつて、子どもたちが高い技術、高い知識を目指せるよう導いて頂きたいですね。それから現場にしっかりと根付いて働ける強い人間になつて欲しいと強く思います。技術を得るためにはこを一度はなれなければならぬかもしれない。だけれども戻ってきたときには企業の主たる人間として動いて、それを全国に発信していける人になつて欲しいですね。

**菊池** それから、六ヶ所には観光の目玉になるものがまだ眠っていると思います。これから

**石田** やはり青森全県下で人口の減少は大きな問題のようです。女性の就労の機会が少ないんだそうで、そうすると女性は都市部へ行ってしまふ。それで県内の男性と出会う機会が減る、結果として出生率が下がるんだそうです。さきほど、国際交流員のお二人が話しておられましたけども、若い人のちよつとした遊

「1」は「3」になると思いますよ。素材としてはすばらしいものがあるのだから。

**古川** そのうえで、若い人がもうちよつと楽しめる場所が欲しいのよね。

**チョン** はい。

**ドロテア** 欲しいですね。



ROKKASHO  
Administrative policy

施策概要



健やかでありますように。

All villagers must be healthy.

きめこまやかに、そして愛情をもって。

A right to find happiness that anyone has equally.

住民の暮らしと健康を守る、  
福祉と医療の提供

健康づくり推進

六ヶ所村では、これまで村内に整備されてきた各種施設を有効活用しながら、健康診断や健康相談のほか、食や栄養を考える集いなどを開催し、身近な活動から健康を考える機会を提供しています。

スポーツの振興のために大石総合運動公園の整備を進めてきました。陸上競技場や野球場、テニスコート・プール・フィールドアスレチック・体育館などを完備したこの施設で、村民は様々なスポーツを楽しんでいます。

広域的な医療体制の充実

住民が安心して医療を受けられるよう村内の診療所の充実に努めるとともに、村外の医療機関との連携強化を通じて、高度医療や救急医療の受診に際しての機能の維持と充実に努めています。

村内には尾駸地区と千歳平地区と泊地区の3箇所に診療所があります。病床数は18、医師6人が診療にあたっています。

介護行政と地域福祉

高齢化の進展に伴い介護サービス需要の増加に対応するため、現在ある施設のサービス内容の充実に努め、有効活用を図るほか、在宅による介護サービスや介護予防対策を講じています。

老人介護を目的とする施設として村には、デイサービスセンターと在宅介護支援センターが併設された特別養護老人ホーム「ぼんてん荘」と、介護支援、居住機能と交流機能を併せ持つ「高齢者生活福祉センター」があります。また、温泉を活用してつくった老人福祉施設「老人福祉センター」では、月に8回ほど巡回バスを出して、この温泉まで各地域のお年寄りを送り迎えしています。

# 健康・福祉

— health/welfare —

Rokkasho Village works to improve the health of villagers by implementing medical checkups, counseling services, seminars on diet and nutrition and sports promotion activities through various facilities. At the same time, the village is endeavoring to cope with its aging population by enhancing the services of the existing aged care facilities and home care services, while developing and taking preventative measures to reduce the needs for nursing care. The village also provides support for the mentally challenged through support facilities in order to involve them in the local community.

「かけはし寮」は、障害者が地域社会とともに暮らせるよう、橋渡しすることを目指してつくられた、知的障害者の援護施設です。作業の一環としてシクラメンやネギの生産、ジャムやお菓子の製造も行っており、好評です。

社会福祉法人 松緑福祉会

理事長 木村廣正

社会福祉法人松緑福祉会は、「社会、地域における福祉の発展・充実」を使命とし、老人介護サービスを提供する特別養護老人ホーム「ぼんてん荘」、障害福祉サービスを提供する知的障害者更生施設「かけはし寮」の入所型事業やデイサービス等の在宅型事業を行っております。法人設立後、地域の方々のご理解とご協力に支えられながら事業を遂行してまいりました。

今後も、高齢者と障害者の地域との和を広げ、利用者が六ヶ所村で安心して暮らせるよう、「一人ひとりの存在を大切に」を念頭におき、法人全体で取り組んでまいります。

## Health Welfare







## 世界の中の六ヶ所。

Rokkasbo of world.

## あらゆる価値観が交錯する地域。

Learn depth of a breast accepting different sense of values.

世界の文化に触れる、  
国際的な交流の推進

村の発展に伴って、国際的な研究者等が多数村内に滞在するようになることが想定されることから、国際的教育機関の立地を促進しています。海外からの来訪者と村民がふれあう機会を提供し、異文化交流の中から新しい文化を創造することを目指します。

### 国際交流の推進

#### 国際的意識をもった人材の育成

世界を意識した行動ができる人材育成を目指し、小・中学校を対象に英語教育の充実を図り、異文化交流を促進するため海外からの青年の招致を継続します。

さらに六ヶ所村では、海外での体験を通して子どもたちに国際的意識をもってもらうため、小学生はオーストラリア研修、中学生はアメリカ研修、高校生は韓国ホームステイなど、年齢に合わせた学習体験ができるように支援しています。

### 韓国との交流

六ヶ所村と韓国のヤンヤンでは、高校生が相互にホームステイして、交流を温めています。

また、孫戸妍さん(1923~2003)は韓国でただ一人、和歌を詠む歌人です。これまで短歌に捧げてきた人生の記念として、1997年にこの六ヶ所村に歌碑(※1)を建立しました。孫さんは青森県から「青い森の特派員」に任命されるなど、韓国と青森県との交流に尽力されました。

### ドイツ・ヴァーレン市と友好都市協定

ヴァーレン市はミューリッツ湖のほとり、バルト海に近いドイツ北部の街です。中世の家並みを残す自然豊かなこの街は、農業・漁業を主体としてきましたが、郊外に工業団地を増設して企業を誘致しています。六ヶ所村では

# 交流

この街と1994年に友好都市協定を結びました。文化交流プラザ・スワニーには、ヴァーレン市の画家、ヨアヒム・ラウテンシュレイガー氏が、1997年に六ヶ所村を訪れて六ヶ所村の風景を描いた「尾駮沼と尾駮レイクタウン」(※2)が飾られています。

アレバ・エヌシー六ヶ所株式会社

吉岡倫子

交流を通して世界中にたくさんの方々が、彼らの生活からそれぞれの国の言語、文化、歴史、習慣、それらの根底にある教育を知る事ができました。また彼らと接する度に、日本人としての自分を強く意識します。情緒的な日本語の美しさ、思いやりという美德、日本文化の奥ゆかしさ等数え切れないほど私達の国を持っている素晴らしい面を再認識・再確認させられます。

六ヶ所村の子供たちに望むことはいろいろな人たちと会い、話し、語り、学び、理解し合って欲しいということです。その経験が郷土を思う、人を思う優しい気持ちに変わり彼らを支えていくと信じています。

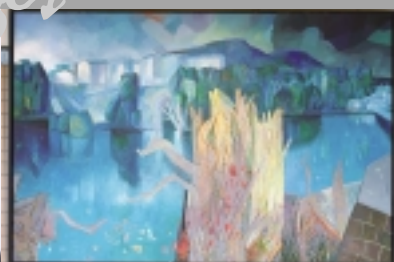
## — exchanges —

In addition to promoting the establishment of international educational institutions within the village, Rokkasbo Village provides opportunities for villagers to interact with visitors from other countries. At the same time, the village will continue to improve English education for children, provide children with overseas learning experiences according to their age and invite young people from other countries, in order to developing an international outlook in young villagers.

# Exchanges



※1 孫戸妍さんと歌碑



※2 尾駮沼と尾駮レイクタウン





## 一人ひとりの個性が輝く。

Individuality one person one shines.

**未来を担う人材の育成**  
 六ヶ所村に立地する研究・産業施設が安定的に人材を確保できるように、村内出身者を中心として、専門的技術を学ぶ機会を確保します。また、地域社会の身近な活動を担っていくことができる人材の育成と確保に努めます。

コミュニティ活動、ボランティア活動等に自発的に連帯

## 郷土を愛する心。

Mind that loves hometowns.

**子どもたちが、健全に成長する環境を確立します。**

村内いずれの地域においても質の高い義務教育が受けられるよう、教育施設等のあり方に関する見直しを行います。また、村民が地域により一層の愛着を持ち、生き生きと交流できる環境をつくっていきます。

### 教育充実・強化

学校教育の基盤を培うために、幼稚園 保育所、小学校、家庭、地域が連携して就学前教育の充実に努めるとともに幼児教育環境づくりを目指しています。また、少子化により児童・生徒数が減少した小中学校の統廃合に取り組み、望ましい学校運営と教育効果を高めることに努めています。今まで以上に家庭教育が重要となってくることから、学校、家庭、地域社会の連帯を一層強化していきます。

### 生涯学習

生涯学習に対する意識の高揚、活動の充実化を図ります。村民が住んでいる村を知るため、村の歴史、文化、産業等各種の学習機会の充実を図り、村民の学習意欲の高揚に努めています。また、高齢者が生きがいのある人生を送ることができるよう世代間交流活動、シルバークラス等の充実を図ります。生活・文化面のみならず、政治経済、健康福祉等の各種講演会・フォーラム等を開催し、村民の学習意識の向上を積極的に進めていきます。

# 教育

意識を持って村民が参加していくために、ボランティア情報提供、地域に密着したサークル活動等への参加啓発、助言等を行っています。また、生涯学習、福祉等の幅広い分野での地域活動のリーダーやボランティアの発掘に努め、その育成支援を図ります。

六ヶ所村連合PTA

会長 吉田裕悦

私は、生活の基本である朝ごはんを、子供と一緒に食べる事が大切であるという思いから「早寝、早起き、朝ごはん」国民運動を推進しています。近年、我が子を正しく躾る、上手に叱る事ができない親が全国的に増えています。それが子供達に転化し、いじめ、自殺などの悲しい事件につながっていると思います。私達親は人のせいにするのではなく、親自身が変わっていくべきだと思えます。どうか「早寝、早起き、朝ごはん」国民運動を子供と共に実践し、生活習慣を変えて行きましょ。

我が村の子供達には、村の自然に親しみ、その恵みを大いに食し、健全に育ち、自分の「心・体」と共に、相手の「心・体」も大切にできる人になってほしいと願っています。

### — education —

Rokkasho Village is striving to strengthen family-community partnerships and improve education at school and at home, as well as provide an even better educational environment for preschoolers and infants. At the same time, the village seeks to improve public awareness of the importance of lifelong learning, create an environment that allows villagers to live their lives to the full and improve their motivation for learning. Moreover, the village provides villagers with information and advice on community activities/volunteer activities and works to develop leaders who will play active roles in community initiatives, so that residents can voluntarily participate in community activities/volunteer activities.

# Education





## 平和な暮らしが一番の宝物。

*A peaceful living is the best treasure.*

### 防犯体制の強化と交通安全

全国的に多様かつ深刻な犯罪が増加しているなか、住民と行政が一体となって地域社会における犯罪の抑止を図ります。また、経済活動の活発化に伴う交通

火災予防運動の推進、研修会の実施等の取り組みを定期的に行います。また、消防体制の強化を図るため、消防設備の計画的更新・拡充、消防団員の資質向上のための教育訓練の充実、消防団活動の普及啓蒙並びに行政と常備消防の連携強化に取り組みます。

### 住民意識の向上

また、尾駮地区には交番が、泊地区と平沼地区・千歳平地区には駐在所があります。六ヶ所村では、交通マナーの呼びかけと、交通パトロールを実施し、交通安全設備の充実を図っています。また、尾駮地区には交番が、泊地区と平沼地区・千歳平地区には駐在所があります。六ヶ所村では、交通マナーの呼びかけと、交通パトロールを実施し、交通安全設備の充実を図っています。

また、尾駮地区には交番が、泊地区と平沼地区・千歳平地区には駐在所があります。六ヶ所村では、交通マナーの呼びかけと、交通パトロールを実施し、交通安全設備の充実を図っています。

## 地域を守る。

*Defense of region.*

防災体制の強化及び防災意識の向上を目指す。

地震や風水害、津波、雪害等の自然災害に対応するために防災体制の充実を図り、「六ヶ所村地域防災計画」に基づいた情報伝達や避難誘導の確かな対応を常に検討、改善していきます。

また、広報誌などあらゆる機会を通じて、住民への防災に関する基礎的な知識の普及を図るとともに、住民参加による一般防災訓練を実施します。

### 消防・警察

尾駮地区には六ヶ所消防署が、泊地区と平沼地区には分署があります。火災や地震等から人命や財産を守るために、消防体制の充実を図るとともに住民の防火・防災意識の啓発に取り組み、火災や災害による住民の被害を最小限にとどめることを目指します。

# 安全

量の増加に向けて、今後も交通安全への取り組みを強化していきます。

### 尾駮交番所長

片野和弘

六ヶ所村交番・駐在所は、交通事故の防止対策として信号機や横断歩道の設置、交通取締り、各学校や事業所等での交通安全講話等を推進してきました。また、犯罪の抑止対策として各学校やコンビニ、金融機関等への巡回や不審者侵入訓練、少年の非行防止活動、パトロールの強化等を実施しております。

地域安全の主役は住民一人ひとりで。自分の身は自分で守る。そのためには外出時の反射材等の活用や戸締りの徹底、不審者への注意等が重要なことです。我々は、これからも住民の皆様と共に「安全で安心して暮らせる六ヶ所村」にするため全力で取り組んでいきます。

### — safety —

Rokkasbo Village constantly discusses and improves its communication and evacuation guidance systems, so that it can make swift, effective responses in the event of an emergency, as part of its efforts to improve disaster preparedness. In addition to improving fire protection facilities and education for fire brigade members and enhancing coordination between administrative authorities and the fire department, the village works to encourage more residents to participate in disaster drills and increase their awareness of disaster preparedness. Moreover, the government and residents join forces to deter crime and promote traffic safety in the local community.

# Safety



# 時代に対応した行政組織づくり。

Administrative organization-making corresponding to age.

**自主的・自律的な財政運営**  
 歳入・歳出の長期的な見直しに基づいて、健全な財政運営を行います。企業立地の促進や、それに伴う税収により歳入の安定を図るとともに、今後大きな歳出が予想される事業を中心に、必要性や投資効果の見直しを行い、積極的に経費削減と合理化を図ります。

**新たな行政改革の推進**  
 従来の組織にとらわれず、効果的に事務事業を処理でき、なおかつ住民の要望に素早く対応できる組織の編成をめざします。また、分権社会の担い手にふさわしい人材の育成に努めます。



教育長 高橋 隆二  
 Superintendent of Education  
 Ryuji Takabasbi

副村長 戸田 衛  
 Vice mayor  
 Mamoru Toda

村長 古川 健治  
 Mayor  
 Kenji Furukawa

収入役 種市 秋光  
 Chief Accountant  
 Akimitsu Taneichi

# 行政・議会

**行政情報の公開と住民参画**  
 六ヶ所村が運営するホームページや広報誌等で、村が行う各種事業の進捗、財政状況に関する情報を積極的に公開します。また、まちづくりや地域振興において、公聴会、討論会など村民の意見交換の場を設けるとともに、新事業の企画や命名に際し、アンケート調査等を実施するなど、村民ニーズの把握に努めます。

**議会**  
 村議会は、村民選挙で選出された20名の議員で構成されています。年4回の定例会のほか、必要に応じて臨時会議を開催します。

## — Administration & Assembly —

Rokkasbo Village promotes sound fiscal management by inviting factories to it and ensuring stable annual revenue, while reviewing the necessity and investment effect of annual expenditure items and facilitating cost reduction and rationalization. In addition, the village seeks to reorganize its structure so that it can carry out administrative work in a more efficient manner and make swifter responses to the needs of residents, while promoting the development of people who can play active roles in this increasingly decentralized society. At the same time, the village actively discloses information to residents through its website and public relations magazine and endeavors to better understand the needs of villagers by holding public hearings and discussion sessions on community improvements and regional developments.

The Rokkasbo Village Assembly, which is made up of 20 members elected in a village election, convenes at regular quarterly meetings and extraordinary meetings that are held on as needed basis.

**議員**  
 Village Assembly men

議長 三角武男(5) Chairperson Takeo Mikado	副議長 高田竹五郎(6) Deputy Chairperson Takegorou Takada	木村廣正(1) Hiromasa Kimura
鳥山義隆(1) Yoshitaka Toriyama	鳥谷部正行(1) Masayuki Toriyabe	岡山勝廣(2) Katsuhiro Okayama
古泊宏(1) Kou Furudomari	高橋文雄(2) Fumio Takabasbi	木村常紀(3) Tsunenori Kimura
高橋源藏(2) Genzo Takabasbi	小泉勉(3) Tsutomu Koizumi	橋本勲(3) Isao Hasbimoto
橋本喜代(3) Kiyoji Hasbimoto	松本光明(3) Mitsuki Matsumoto	種市敏美(4) Tosimi Taneichi
橋本隆春(4) Takabaru Hasbimoto	小泉靖美(4) Yasumi Koizumi	橋本猛(7) Takeichi Hasbimoto
附田義美(4) Yoshimi Tsukuda	相内宏(4) Kouichi Ainai	

※( )内は当選回数

あこがれ

## 未来を拓く教育・福祉と科学のまちを目指して

六ヶ所村長 古川健治

村では、平成18年度から10年間の総合的かつ長期的なまちづくりの指針として「第三次六ヶ所村総合振興計画」を策定いたしました。

村の将来像としてのキャッチフレーズを、自然が彩る豊かな未来を拓く「躍進・発展のまち」

人と文化を育み科学と産業がはばたくと定め、恵まれた自然に囲まれながら、経済的に、精神的に満たされる理想的な暮らしを究極的な目標に、人（人材の育成）・文化（精神を豊かにする活動）・科学（高度な研究実践）・産業（経済的な発展）を中心的な取り組みの柱に掲げ、躍進・発展するまちの実現を目指すものであります。

この度の発刊は、現在の六ヶ所村の姿と将来像として掲げた目標実現の諸施策の概要を紹介するものです。この村勢要覧を通し、当村を理解いただくとともに、更なる村政発展にお力添えをいただければ幸いです。

ります。

村政発展の基本理念として「安全・安心なくして村の発展なし」、「教育と福祉の充実なくして村の発展なし」、「協和の精神なくして村の発展なし」を掲げ、「豊かな郷土を次世代へ引き継ぐために、未来を拓く教育・福祉と科学のまちの実現を目指して参ります。

この度の発刊は、現在の六ヶ所村の姿と将来像として掲げた目標実現の諸施策の概要を紹介するものです。この村勢要覧を通し、当村を理解いただくとともに、更なる村政発展にお力添えをいただければ幸いです。



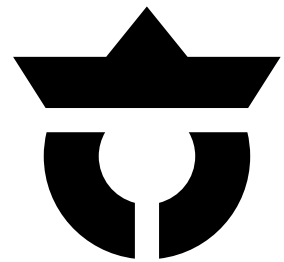
Mayor Kenji Furukawa

### 村民憲章

わたしたちは、恵まれた自然とたゆみない努力を続けてきた祖先の心を受けつぎ、郷土がますます発展することを願い、産業と科学・文化が共栄する新しい郷土をめざし、力をあわせて実践するためここに村民憲章を定めます。

(昭和55年11月3日制定) (平成17年11月3日改定)

- 一、わたしたちは、太平洋のような広い心を持ち、人間愛に満ちた村民になります。
- 一、わたしたちは、小川原湖のような大きな希望を持ち、進んで協力する村民になります。
- 一、わたしたちは、貴宝山のような気高さを持ち、心身ともに健全な村民になります。
- 一、わたしたちは、老部川のような清い心を持ち、親切で礼儀正しい村民になります。
- 一、わたしたちは、七鞍平のようなおおらかな心を持ち、郷土を愛する村民になります。



### 村章

六ヶ所村の六の字を圖案化したもので、上部には躍進発展を、下部の二線は村民の協和を力強く表現した。

(昭和41年2月制定)



六ヶ所村役場 Rokkasbo village office

# 六連星の願い

— wish of Pleiades —

私の好きな六ヶ所村が、  
これからもずっと素敵な  
村でありますように。

冬の尾駱沼

泊の海・海岸

農耕地と近代的施設が  
混在する風景

物見崎  
(灯台)

六ヶ所村で  
**最も素晴らしい  
風景**は？

海・湖沼群

と思う風景

牛の放牧風景

風車  
(ウインドファーム)

原燃PRセンターからの眺め

冬の尾駱沼

スパハウス  
ろっかほっか

原燃PR  
センター

村を初めて  
訪れた人を連れて  
行きたい**場所**は？

六ヶ所醸造工房

砂浜や海岸線を見せたい

泊の海岸線・海

原子燃料  
サイクル施設

尾駱レイクタウン周辺

産業祭りのサゲの  
つかみ取り!

ろっかしょ  
産業まつり

村民体育大会

村で  
一番好きな  
**お祭り**は？

村民文化祭

泊大祭

たのしむべ!  
フェスティバル

ウニ漁の解禁日!

各地区に伝わる神楽

村外に  
誇れる六ヶ所村の  
**歴史・文化**は？

縄文式土器

縄文遺跡

丸木舟

尾駱の駒

図書館は誇れると思う

たのしむべ! フェスティバルの花火

はたんき  
(プラム)

かんぱら  
(上の方)

おもしろい  
**方言**は？

かんじえ  
(ウニ)

うすなまっこ  
(ヒョーキナ)

なげつつ  
(泣き虫)

六ヶ所のサゲの  
チャンチャン焼きがうまい

長芋と乳製品

長芋

村外の人に  
食べてほしい  
**特産品  
郷土料理**は？

ウニ

マツモ鍋

イカの沖漬け

※無作為に選んだ六ヶ所の村民 100 人に、上記の設問に答えていただき、  
得られた回答の中からそれぞれ上位 5 つと、お寄せいただいたコメントを掲載しています。

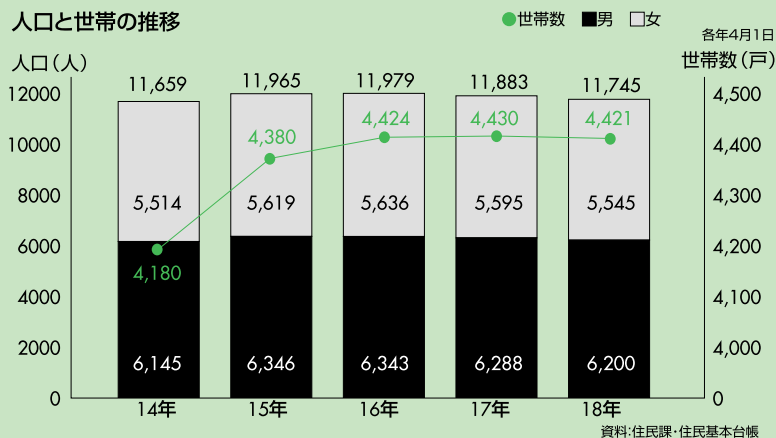
R  
O  
K  
K  
A  
S  
H  
O

資料編

S  
tream of the village

人口

人口と世帯の推移



村民生活

一人当たりの村民所得

年次	一人当たりの所得(円)		一人当たりの所得比率(%)
	村	県	
12年	3,047,000	2,448,000	124.5
13年	3,043,000	2,306,000	132.0
14年	2,903,000	2,204,000	131.7
15年	2,835,000	2,160,000	131.3

資料:市町村村民所得統計

気象

気象概況

年次	気温(℃)					風速(m/sec)	降水量(mm)			最深積雪		日照時間
	平均			極			総量	最大日量	月日	cm	月日	
	平均	最高	最低	最高	最低	時間数						
13年	8.5	12.0	5.3	30.4	-11.2	2.7	1,524	149	9月11日	115	2月17日	1400.5
14年	9.2	12.8	5.9	31.7	-9.3	2.5	1,673	117	7月11日	88	1月28日	1518.2
15年	8.8	12.5	5.3	30.4	-10.0	2.4	1,267	103	8月9日	—	—	1389.0
16年	10.1	14.3	6.2	34.2	-9.7	2.4	1,546	98	9月30日	—	—	1592.0
17年	8.7	12.5	5.2	31.3	-12.1	2.4	1,468	89	10月22日	—	—	1496.3

資料:青森地方気象台

水道

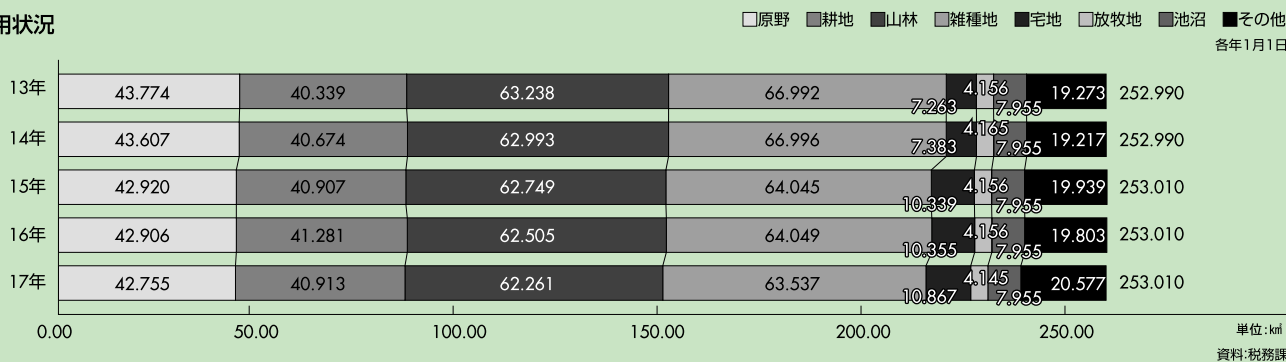
給水人口と給水量

年度	給水区域		給水		普及率(%)	一人、一日最大給水量(ℓ)	一日最大給水量(m)	年間排水量(m)
	戸数	人口	戸数	人口				
13年	4,195	11,783	4,195	11,753	99.7	632	7,426	2,103,701
14年	4,452	12,053	4,452	11,921	98.9	670	6,418	1,978,023
15年	4,592	12,114	4,592	11,985	98.9	597	7,150	2,136,180
16年	4,610	11,988	4,610	11,965	99.8	567	6,778	2,201,635
17年	4,463	11,877	4,463	11,868	99.9	661	7,846	2,302,014

資料:上下水道課

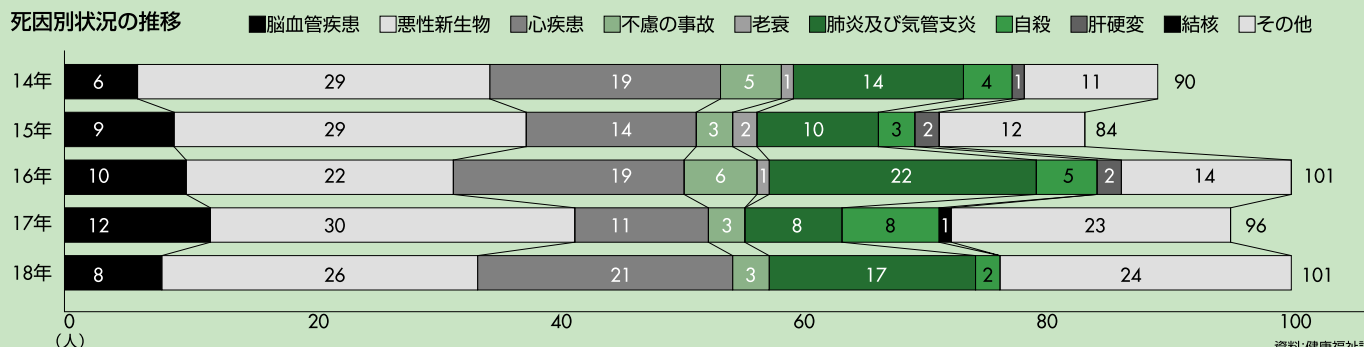
土地

土地利用状況



保健・衛生

死因別状況の推移





漁業

魚種別漁獲量(属地)

区分		14年	15年	16年	17年	
魚種	漁獲量	4784.0	3339.4	5098.5	4753.6	
	まいわし	0.3	0.2	—	—	
	かつお	0.1	0.1	0.005	0.9	
	まぐろ	4.2	6.2	5.4	7.7	
	さば	7.2	27.9	1.3	78.6	
	ぶり	28.6	19.2	65.5	213.0	
	たら	0.4	0.6	1.0	3.2	
	さめ	1.1	0.7	1.4	1.4	
	たい	2.6	0.5	0.6	0.2	
	まがれい	3.2	6.0	1.6	1.3	
	いしがれい	7.0	6.9	26.5	17.4	
	ばばがれい	17.1	10.7	15.6	17.9	
	まこがれい	13.9	23.0	23.8	14.5	
	その他のかれい	9.3	12.5	8.9	7.5	
	ひらめ	88.0	70.2	54.6	58.8	
	ほっけ	0.3	0.3	19.5	0.3	
	あじ	0.7	0.2	0.2	0.4	
	さんま	0.6	—	0.3	0.06	
	さけ	454.4	415.4	633.0	216.3	
	さくらます	11.9	21.8	17.7	14.4	
	からぶとます	0.5	0.3	0.8	0.1	
	こうなご	45.3	74.4	109.2	48.6	
	そい	2.0	1.8	2.5	2.0	
	あいなめ	0.8	1.3	0.8	1.0	
	うすめばる	0.3	1.1	2.1	—	
	その他めばる	—	—	—	2.9	
	めぬけ	—	—	0.006	0.8	
	かながしら	0.4	—	—	—	
	あんこう	—	—	—	13.5	
	その他	59.3	53.4	67.2	51.1	
	小計	758.0	757.1	1059.1	773.0	
	貝類	あわび	2.3	0.9	—	0.4
		ほっきがい	4.2	1.3	4.4	0.7
		その他	0.4	0.4	—	2.9
小計		6.9	2.6	4.4	4.0	
その他の水産動物	するめいか	3843.6	2356.5	3909.3	3929.4	
	やりいか	85.5	87.7	41.9	21.2	
	あかい	—	1.3	—	—	
	その他のいか	—	—	0.3	0.7	
	たこ	4.8	11.1	7.4	4.9	
	かに	4.2	30.4	5.3	4.8	
うに	63.4	71.6	30.0	—		
小計	4001.9	2558.6	3994.2	3961.0		
草類	こんぶ	16.8	21.1	40.8	15.6	
	小計	16.8	21.1	40.8	15.6	

資料:青森県海面漁業に関する調査

農作物

農作物の作付面積および収穫量

(注)平成6年度からは「かんしょ」に統一され、「ばれいしょ」は野菜に含まれた。

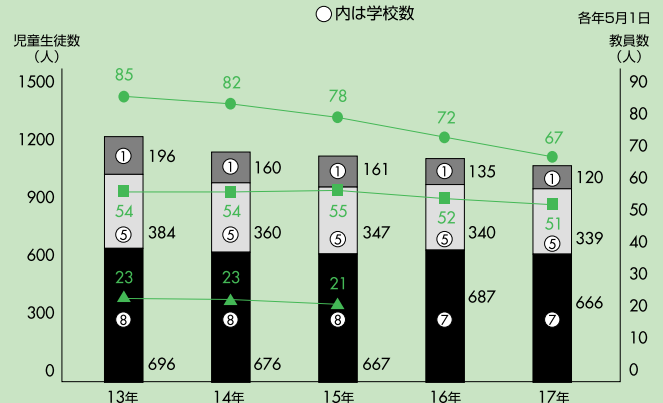
年次	13年	14年	15年	16年	17年	
水稻	作付面積 (ha)	169	167	168	164	157
	10a当収量 (t)	347	376	24	585	488
	収穫量 (t)	586	628	40	959	766
豆類	作付面積 (ha)	40	33	10	20	10
	収穫量 (t)	45	39	11	13	15
工芸農作物	作付面積 (ha)	2	1	1	1	1
	収穫量 (t)	1	0	0	0	1
飼肥料作物	作付面積 (ha)	2,600	2,600	2,580	2,680	2,620
	収穫量 (t)	114,600	122,400	94,000	123,300	114,500
野菜類	作付面積 (ha)	724	707	672	661	675
	収穫量 (t)	24,600	25,346	21,600	23,700	24,605

資料:農作物統計、園芸作物統計

教育

学校数・在学者数及び教員数

児童生徒数/■高等学校 □中学校 ■小学校  
 教員数/▲高等学校 ■中学校 ●小学校  
 ○内は学校数



資料:学校基本調査

文化

六ヶ所村の文化財

名称	指定区分	指定年月日	数量	所有者・代表者	集落
泊のまるきぶね	国指定重要有形民俗文化財	1963(昭和38).5.15	1隻	県立郷土館	泊
	大正12(1923)年頃、泊の三角久松氏が戸の棚沢山のブナの木で作らせた。本州太平洋岸の丸木舟としては最北。				
大石平遺跡出土品	国指定重要文化財(考古資料)	1995(平成7年).6.15	一括(198個)	青森県埋蔵文化財調査センター	大石平
	縄文後期の集落と共に巨大木柱後が発見された遺跡。赤漆切断彩色壺型蓋付土器や手形・足型土製品祭祀に用いられたものか。				
オジロワシ	国指定天然記念物(動物)	1970(昭和45年).1.23	—	—	地域を定めずに指定
小川原湖のハクチョウ	湖や川岸・森に生息し、小川原湖や湖沼群のウグイスなどを餌にする。尾鰭沼に最も多く、湖沼群全体の個体数はおおよそ20。村の鳥。	—	—	—	—
	県指定天然記念物(動物)	1972(昭和47年).12.5	—	—	小川原湖北端
貴宝の神楽舞	小川原湖にはオオハクチョウ・コハクチョウの両種が飛来する。カムチャツカから来るものと、サハリンから来るものがある。	—	—	—	—
	村指定無形文化財(芸能)	1974(昭和49年).3.29	—	中村弘志	泊
諏訪の神楽舞	貴宝山神社の神事で舞われる神楽。舞い手・舞い・楽は「諏訪の神楽」と同じ「泊神楽」。獅子神楽のうち太神楽に分類される。	—	—	—	—
	村指定無形文化財(芸能)	1974(昭和49年).3.29	—	中村弘志	泊
新山権現舞	諏訪神社の神事で舞われる。舞い手・舞い・楽は「貴宝の神楽」と同じ「泊神楽」。獅子神楽のうち太神楽に分類される。	—	—	—	—
	村指定無形文化財(芸能)	1985(昭和60年).12.21	—	佐藤石五郎	千歳平・新城平
大乗寺のいちい	大正5年に甲地(現東北町)より習った新納屋集落の獅子舞が、むつ小川原開発に伴う集団移転で名称を変え復活したものの。	—	—	—	—
	村指定天然記念物(樹木)	1974(昭和49年).3.29	1本	大乗寺	泊
千歳中学校のしなの木	樹齢300年を超える古木で、落雷により枝が損傷しているが、その縁は絶えることがない。	—	—	—	—
	村指定天然記念物(樹木)	1974(昭和49年).3.29	2本	千歳中学校	千歳
能登七右衛門文書	指定書には「3本」と記載されているが、1本は外見上は2本でも根本が繋がっている巨木。「菩提樹」と呼ばれ親しまれている。	—	—	—	—
	村指定有形文化財(古文書)	1974(昭和49年).3.29	9件	能登鉄太郎	泊
秋田屋忠七家文書	宝暦4(1754)年、七戸代官所が泊港で取引される諸品の役銭を定めたもの。当時の上方との物流の様子が分かる。	—	—	—	—
	村指定有形文化財(古文書)	1979(昭和54年).3.12	2件	種市忠敏	泊
木村文書	貴宝山をめぐる縁起や靈場争いの顛末などについて記されたもの。豊かなバ山をめぐる文書もある。	—	—	—	—
	村指定有形文化財(古文書)	1979(昭和54年).5.30	1件	木村毅	倉内
寛文12(1672)年に有戸の御野守別当となった木村家に伝わる文書。各集落の地名の由来についての言い伝えも書かれている。					

資料:六ヶ所村教育委員会

## 行政

## 歴代村長一覧

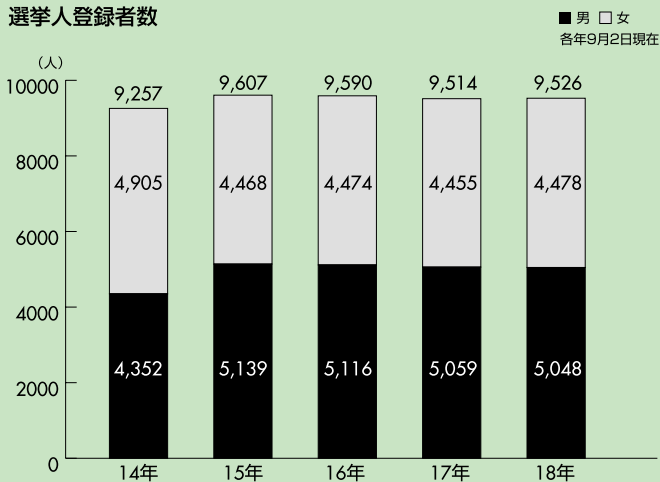
	氏名	就任期間
初代	工藤 壽平	明治22.5.15 ~ 明治25.5.14
2	渡部 政之助	明治25.5.15 ~ 明治29.5.14
3~4	菅 保次郎	明治29.5.15 ~ 明治37.10.1
5	高田 達也	明治37.10.15 ~ 明治41.10.1
6~7	渡部 泰敏	明治41.10.10 ~ 大正4.10.6
8	笠尾 善太郎	大正5.6.20 ~ 大正9.6.19
9	高橋 毅郎	大正10.1.25 ~ 大正11.2.17
10	高村 太助	大正12.5.15 ~ 大正13.3.21
11~12	高田 達也	大正13.4.5 ~ 昭和7.4.4
13	高村 太助	昭和7.4.5 ~ 昭和11.4.4
14	米田 與太郎	昭和11.4.5 ~ 昭和15.4.4
15	南 安太郎	昭和15.4.5 ~ 昭和19.4.4
16	福田 富雄	昭和19.4.5 ~ 昭和21.1.6
17	橋本 勝太郎	昭和21.1.7 ~ 昭和21.10.30
18~20	佐々木 高壽	昭和22.4.6 ~ 昭和34.5.2
21~22	沼田 正	昭和34.5.3 ~ 昭和41.12.4
23	種市 栄太郎	昭和42.1.11 ~ 昭和44.11.17
24	寺下 力三郎	昭和44.12.21 ~ 昭和48.12.19
25~28	古川 伊勢松	昭和48.12.20 ~ 平成元.12.19
29~31	土田 浩	平成元.12.20 ~ 平成9.12.19
32~33	橋本 寿	平成9.12.20 ~ 平成14.5.18
34~35	古川 健治	平成14.7.7 ~ 在任中

## 歴代助役一覧

	氏名	就任期間
初代	渡部 政之助	明治22.5.15 ~ 明治25.5.14
2~3	橋本 市之助	明治25.5.15 ~ 明治33.5.14
4	橋本 儀助	明治33.5.15 ~ 明治37.5.14
5	渡部 政之助	明治37.7.9 ~ 明治40.12.15
6	橋本 佐助	明治41.2.6 ~ 明治42.2.5
7	佐々木 末治	明治45.2.6 ~ 大正2.2.5
8	大庭 房五郎	大正2.2.6 ~ 大正4.6.19
9	笠尾 善太郎	大正4.6.20 ~ 大正5.6.19
10	橋本 佐助	大正5.11.6 ~ 大正8.11.14
11	橋本 久之助	大正8.11.15 ~ 大正11.2.17
12	川上 千代吉	大正11.5.20 ~ 大正13.3.31
13	二本柳 佐三	大正13.8.1 ~ 大正14.7.31
14	乙供 數馬	大正14.8.1 ~ 昭和3.3.19
15~16	阿部 留吉	昭和3.3.20 ~ 昭和11.1.5
17	服部 悟	昭和12.4.5 ~ 昭和16.4.4
18~19	橋本 勝太郎	昭和16.4.5 ~ 昭和21.1.6
20	佐々木 高壽	昭和21.2.23 ~ 昭和22.4.5
21~22	橋本 光三郎	昭和22.5.15 ~ 昭和30.5.10
23	松尾 正五	昭和30.6.1 ~ 昭和34.5.31
24~26	寺下 力三郎	昭和35.3.25 ~ 昭和44.1.17
27~30	橋本 徳保	昭和45.12.15 ~ 平成元.12.19
31~33	橋本 勲	平成2.12.6 ~ 平成9.12.19
34	橋本 左内	平成10.3.13 ~ 平成14.3.12
35~36	戸田 衛	平成14.3.26 ~ 在任中

(法改正により平成19年4月1日から副村長)

## 選挙人登録者数



資料:選挙管理委員会

## 歴代収入役

	氏名	就任期間
初代	渡部 政之助	明治22.5.15 ~ 明治25.5.14
2	橋本 重治郎	明治25.5.15 ~ 明治29.6.19
3	高村 太助	明治29.6.20 ~ 明治33.9.30
4	橋本 重治郎	明治33.10.1 ~ 明治37.9.30
5	高橋 市郎	明治37.10.1 ~ 明治39.9.30
6	市川 光一	明治39.10.1 ~ 明治41.9.30
7	橋本 半三	明治41.10.1 ~ 明治45.9.30
8	高橋 豊松	明治45.10.1 ~ 大正4.9.30
9	高村 常太郎	大正4.10.1 ~ 大正8.3.18
10	高村 清太郎	大正8.10.1 ~ 大正11.2.17
11~14	田中 喜太郎	大正11.11.11 ~ 昭和11.4.4
15	南 安太郎	昭和12.1.13 ~ 昭和15.4.4
16~17	高田 嘉市	昭和15.4.27 ~ 昭和22.5.10
18~19	松尾 正五	昭和22.5.11 ~ 昭和30.5.10
20~21	高橋 鐵雄	昭和30.9.29 ~ 昭和38.3.27
22~23	高橋 市之助	昭和38.5.10 ~ 昭和46.5.9
24~25	福田 嘉富	昭和46.7.13 ~ 昭和54.7.12
26~27	橋本 金策	昭和54.9.21 ~ 昭和61.6.1
28	橋本 左内	昭和61.10.1 ~ 平成元.12.19
29~31	古泊 宏	平成2.12.6 ~ 平成9.12.19
32	高橋 源藏	平成10.3.13 ~ 平成14.3.12
33~34	種市 秋光	平成14.3.26 ~ 在任中

## 歴代教育長一覧

	氏名	就任期間
初代	橋本 光三郎	昭和27.11.1 ~ 昭和28.3.31
2	有本 崧賢	昭和28.4.1 ~ 昭和35.9.30
3	田中 澄	昭和36.2.17 ~ 昭和37.9.30
4	田中 澄	昭和50.11.1 ~ 平成3.10.3
5	橋本 寿	平成3.10.5 ~ 平成9.10.6
6	古川 健治	平成10.2.5 ~ 平成14.6.19
7	高橋 隆二	平成14.12.7 ~ 在任中

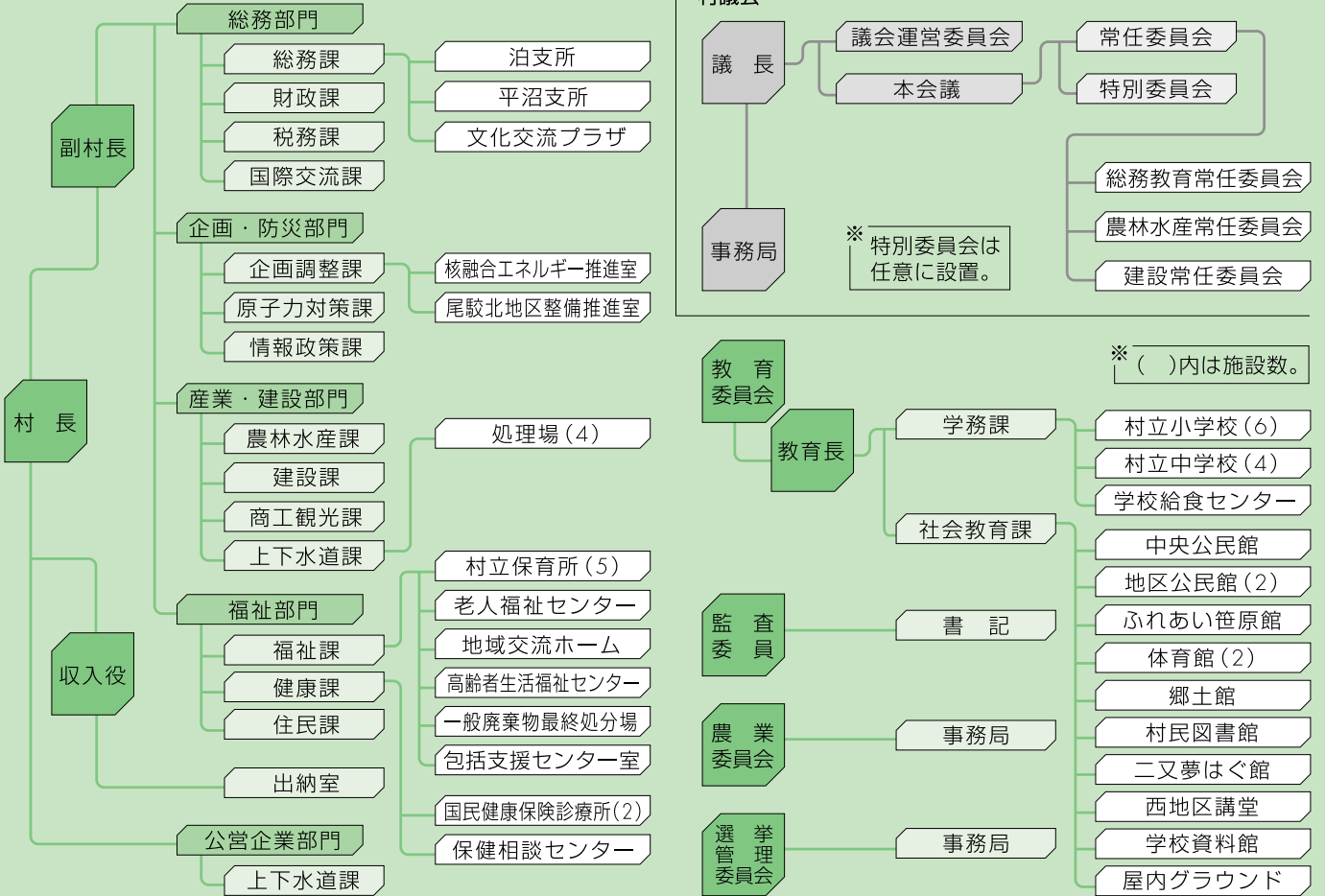
## 歴代議長一覧

	氏名	就任期間
初代	三角 久松	昭和22.4.29 ~ 昭和23.5.15
2	川畑 松太郎	昭和23.5.16 ~ 昭和26.4.19
3	木村 政次郎	昭和26.4.30 ~ 昭和30.4.19
4	沼田 正	昭和30.5.10 ~ 昭和34.3.19
5	川畑 松太郎	昭和34.5.8 ~ 昭和38.4.19
6	円子 秀雄	昭和38.5.11 ~ 昭和42.4.19
7	中村 正七	昭和42.5.6 ~ 昭和43.12.19
8	佐藤 繁作	昭和43.12.13 ~ 昭和46.4.19
9	古川 伊勢松	昭和46.5.4 ~ 昭和48.10.19
10~11	古泊 實	昭和48.10.26 ~ 昭和54.4.19
12	沼辺 綱雄	昭和54.5.4 ~ 昭和58.2.19
13	橋本 猛雄	昭和58.5.13 ~ 昭和59.4.19
14	小泉 時男	昭和59.3.8 ~ 昭和62.12.19
15~16	橋本 道三郎	昭和62.5.12 ~ 平成6.6.15
17	寺下 末松	平成7.1.30 ~ 平成7.4.19
18	辻浦 鶴松	平成7.5.18 ~ 平成11.3.29
19	中嶋 武満	平成11.5.3 ~ 平成15.4.29
20	大湊 茂	平成15.5.14 ~ 平成19.4.27
21	三角 武男	平成19.5.10 ~ 在任中

## 歴代副議長一覧

	氏名	就任期間
初代	沼田 正	昭和22.4.29 ~ 昭和26.4.20
2	目時 喜一郎	昭和26.4.30 ~ 昭和30.4.30
3	佐藤 繁作	昭和30.5.8 ~ 昭和34.4.29
4	木村 伊三郎	昭和34.5.8 ~ 昭和42.4.29
5	沼尾 忠男	昭和42.5.8 ~ 昭和46.4.30
6	木村 市雄	昭和46.5.4 ~ 昭和48.4.29
7	沼辺 綱雄	昭和48.5.8 ~ 昭和54.4.29
8	中嶋 武雄	昭和54.5.4 ~ 昭和58.4.29
9	小泉 時男	昭和58.5.4 ~ 昭和59.3.7
10	及川 昇三	昭和59.5.8 ~ 昭和62.4.29
11	佐藤 鐵夫	昭和62.5.12 ~ 平成3.5.15
12	寺下 末松	平成3.5.16 ~ 平成7.1.29
13	辻浦 鶴松	平成7.1.30 ~ 平成7.4.29
14	秋戸 喜代美	平成7.5.18 ~ 平成11.4.29
15	中村 勉	平成11.5.13 ~ 平成15.4.29
16	鳥山 和一郎	平成15.5.14 ~ 平成19.4.27
17	高田 竹五郎	平成19.5.10 ~ 在任中

行政機構図



財政

一般会計歳出予算及び決算

資料:決算書

	平成12年度				平成13年度				平成14年度			
	予算額		決算額	構成比	予算額		決算額	構成比	予算額		決算額	構成比
	当初	最終			当初	最終			当初	最終		
総額	7,280,000	11,299,333	10,508,729	100.0	11,000,000	11,636,580	10,736,335	100.0	10,056,252	11,411,856	10,810,175	100.0
議会費	146,523	150,262	149,730	1.4	178,158	170,529	169,875	1.6	148,457	136,539	135,942	1.3
総務費	1,529,386	1,818,540	1,736,455	16.5	1,675,992	1,795,770	1,775,675	16.5	1,627,581	1,648,267	1,634,446	15.1
民生費	872,418	891,482	879,765	8.4	922,619	921,893	913,410	8.5	1,463,729	1,402,236	1,390,759	12.9
衛生費	547,319	1,293,683	671,337	6.4	634,382	1,214,272	1,205,538	11.2	649,021	654,456	647,340	6.0
労働費	2,705	2,605	2,285	0.0	2,572	2,572	2,384	0.0	1,755	1,755	1,464	0.0
農林水産業費	447,971	503,116	498,058	4.7	603,974	624,069	619,034	5.8	861,155	1,416,677	1,411,765	13.1
商工費	140,085	136,931	135,434	1.3	224,983	151,999	149,035	1.4	160,098	181,519	179,906	1.7
土木費	965,519	1,367,111	1,327,196	12.6	1,424,005	3,049,673	2,261,724	21.1	1,159,247	2,412,468	1,887,014	17.5
消防費	514,760	518,139	517,520	4.9	551,895	564,994	564,208	5.3	553,473	545,303	544,435	5.0
教育費	903,011	927,610	916,428	8.7	1,660,873	1,215,132	1,198,234	11.2	1,651,464	1,245,692	1,220,114	11.3
災害復旧費	200	200	24	0.0	200	86,735	53,790	0.5	200	51,554	49,109	0.5
公債費	400,695	394,470	394,319	3.8	387,535	379,452	379,021	3.5	397,768	392,368	392,270	3.6
諸支出費	794,408	3,280,184	3,280,178	31.2	2,717,812	1,444,490	1,444,407	13.5	1,352,304	1,315,617	1,315,611	12.2
予備費	15,000	15,000	0	0.0	15,000	15,000	0	0.0	30,000	7,405	0	0.0
	平成15年度				平成16年度				平成17年度			
	予算額		決算額	構成比	予算額		決算額	構成比	予算額		決算額	構成比
	当初	最終			当初	最終			当初	最終		
総額	11,291,000	11,553,618	11,273,337	100.0	13,060,000	13,003,786	12,828,049	100.0	12,220,000	11,997,456	11,847,268	100.0
議会費	129,486	131,761	131,155	1.2	151,534	142,692	141,989	1.1	123,573	123,862	123,126	1.0
総務費	1,666,869	1,684,995	1,647,751	14.6	1,856,969	1,750,897	1,713,190	13.4	1,981,931	1,629,681	1,594,798	13.5
民生費	1,195,373	1,181,410	1,163,821	10.3	1,059,608	1,073,206	1,060,367	8.3	1,061,986	1,041,543	1,019,663	8.6
衛生費	740,350	649,155	641,436	5.7	663,696	624,203	617,723	4.8	710,461	648,169	641,106	5.4
労働費	1,595	1,595	1,323	0.0	1,795	1,795	1,596	0.0	1,300	1,300	1,046	0.0
農林水産業費	744,610	913,924	901,464	8.0	754,931	793,772	785,759	6.1	1,055,358	1,153,954	1,149,151	9.7
商工費	392,197	370,322	366,424	3.3	306,870	302,375	297,227	2.3	933,149	851,533	848,041	7.2
土木費	1,388,572	2,066,686	1,923,770	17.1	2,381,633	2,471,059	2,431,723	19.0	1,874,672	1,895,823	1,875,758	15.8
消防費	555,617	548,536	547,826	4.9	563,377	555,582	553,970	4.3	576,384	556,795	556,222	4.7
教育費	2,052,363	1,899,200	1,866,814	16.6	2,936,212	2,804,984	2,771,900	21.6	1,114,887	1,079,110	1,052,881	8.9
災害復旧費	200	1,844	1,527	0.0	200	200	11	0.0	200	200	0	0.0
公債費	416,898	409,473	409,316	3.6	550,249	548,294	547,873	4.3	383,805	381,317	381,312	3.2
諸支出費	1,976,870	1,670,717	1,670,710	14.8	1,802,926	1,904,727	1,904,721	14.8	2,372,294	2,604,169	2,604,164	22.0
予備費	30,000	24,000	0	0.0	30,000	30,000	0	0.0	30,000	30,000	0	0.0

六ヶ所村歴史年表

Table with 3 columns: Year (e.g., 1802, 1901, 1999), Event Number (e.g., 21, 10, 54), and Event Description (e.g., 泊の諏訪神社が建立, 5月からの豪雨により降水量210ミリを記録).

Table with 3 columns: Year (昭和/平成), Event Number, and Event Description. The table lists historical events from 1961 to 2006, including school establishments, agricultural developments, and community activities.

むつ小川原開発・開発の経緯

1968 昭和 43 12 通産省で工業開発の構想試案を発表。

1969 昭和 44 2 25 県庁内にむつ小川原開発対策連絡会議を設置。

1970 昭和 45 5 30 県企画部開発課、陸奥湾小川原湖地域の開発を発表。

1971 昭和 46 2 3 村農業委員会が調査した結果、開発反対17%、賛成72%という数字が出る。

1972 昭和 47 1 6 村議会特別委、正副委員長辞職。

1973 昭和 48 1 17 村議会、むつ小川原開発住民対策特別委員会設置。

1974 昭和 49 8 8 むつ小川原開発六ヶ所村対策協議会が視察研修実施。(9日)

1975 昭和 50 1 10 新市街地A地区の建設に関する諸問題の打合せ会を実施。

1976 昭和 51 12 31 東京重機、青森ミナトフアーマー進出決定。

1977 昭和 52 3 19 開発反対同盟が二ヶ所村を守る会に名称変更。

1978 昭和 53 1 14 県、むつ小川原漁業補償対策協議会を設立。

1979 昭和 54 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1980 昭和 55 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1981 昭和 56 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1982 昭和 57 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1983 昭和 58 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1984 昭和 59 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1985 昭和 60 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1986 昭和 61 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1987 昭和 62 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1988 昭和 63 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1989 昭和 64 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1990 昭和 65 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1991 昭和 66 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1992 昭和 67 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1993 昭和 68 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1994 昭和 69 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1995 昭和 70 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1996 昭和 71 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1997 昭和 72 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1998 昭和 73 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

1999 昭和 74 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2000 昭和 75 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2001 昭和 76 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2002 昭和 77 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2003 昭和 78 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2004 昭和 79 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2005 昭和 80 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2006 昭和 81 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2007 昭和 82 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2008 昭和 83 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2009 昭和 84 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2010 昭和 85 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2011 昭和 86 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2012 昭和 87 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2013 昭和 88 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2014 昭和 89 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2015 昭和 90 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2016 昭和 91 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2017 昭和 92 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2018 昭和 93 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2019 昭和 94 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2020 令和 1 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2021 令和 2 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2022 令和 3 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2023 令和 4 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2024 令和 5 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2025 令和 6 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2026 令和 7 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2027 令和 8 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2028 令和 9 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2029 令和 10 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2030 令和 11 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2031 令和 12 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2032 令和 13 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2033 令和 14 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2034 令和 15 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2035 令和 16 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2036 令和 17 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)

2037 令和 18 1 17 六ヶ所都市計画市街化区域、市街化調整区域及び用途地域の素案の地区説明会開催。(18日)



2009 平成 10 7・29 県及び村と日本原燃(株)の間において、六ヶ所再処理工場の受け入れ貯蔵施設等で行う燃焼度計測装置の校正試験に用いる使用済燃料の受け入れ及び貯蔵に当たつての周辺地域の安全確保及び環境の保全に関する協定を締結。村員などが参加し使用済燃料受入貯蔵施設を対象とした原子力防災訓練(第6回)を実施。

2009 平成 11 4・15 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第4回)東海村JCOで臨界事故発生。

2009 平成 12 1・21 液晶産業の一大拠点となる「クリスタルバレイ」構想が持ち上がる。

2009 平成 12 2・23 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第5回)六ヶ所保障措置センター六ヶ所保障措置分析所に使用許可証が交付される。

2009 平成 12 8・4 むつ小川原開発(株)が解体され、新たに「新むつ小川原(株)」が創設。

2009 平成 12 9・14 エコパワーによる風力発電所建設に同意。

2009 平成 12 15・14 トヨタ自動車と白山貿易による花卉栽培工場「トヨタフーリリテック」操業。

2009 平成 12 11・28 エコパワーによる風力発電所の建設が始まる。

2009 平成 12 12・8 米資本イーパワー社が村に液化ガスによる火力発電所建設の構想を発表。

2009 平成 12 11・28 国内原子力発電所からの使用済燃料の初搬入。

2009 平成 12 11・24 国内原子力発電所からの使用済燃料の搬入。(第2回)

2009 平成 12 2・7 国内原子力発電所からの使用済燃料の搬入。(第3回)

2009 平成 12 21 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第6回)

2009 平成 12 22 県が東京都内企業を対象にクリスタルバレイ構想の説明会開催。

2009 平成 12 3・1 日本原燃(株)が県村に対し、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターの増設を安全協定に基づく「事前了解」を申し入れ。

2009 平成 12 2 日本原燃(株)が村議会全員協議会で、高ベータガンマ廃棄物処理の問題を中心に、原子燃料サイクル事業の現状と見通しについて説明。

2009 平成 12 22 村及び村議会がむつ小川原開発の促進を求める要望書を県に提出。

2009 平成 12 28 米資本エンコム社がむつ小川原地域に建設を計画している。液化天然ガス火力発電所の建設、運転に関する基本計画書を県に提出。

2009 平成 12 4・9 笹川科学技術担当相が原子燃料サイクル施設を視察。

2009 平成 12 9・9 県知事及び村長が、笹川科学技術担当相に対し、ITERのむつ小川原開発地域への誘致を要請。

2009 平成 12 20 日本原燃(株)が建設中の再処理工場で通水作動試験開始。

2009 平成 12 26 県内初の第34回日本原子力産業会議年次大会が村文化交流プラザで開催。

2009 平成 12 5・15 むつ小川原工業地域立地企業連絡会が発足。

2009 平成 12 16 村内にてITERの誘致を目指す六ヶ所熱核融合研究施設誘致推進会議が村文化交流プラザで定時総会を開催。

2009 平成 12 19 経済産業省原子力安全・保安院の佐々木院長が原子燃料サイクル施設を視察。

2009 平成 12 22 県議会、村が遠山文部科学相及び尾身科学技術担当相へITERのむつ小川原地域への誘致を要請。

2009 平成 12 6・14 日本原燃(株)が低レベル放射性廃棄物のうち、比較的放射能レベルの高い廃棄物を埋設する次期埋設事業について村議会全員協議会で説明。

2002 平成 14 5・31 政府が六ヶ所村をITERの国内建設候補地とすることを閣議了解。

2002 平成 14 6・1 県が、庁内に「ITER誘致推進本部」を発足。同時に「ITER誘致推進室」を新設。

2002 平成 14 4 政府がフランスで開催の公式政府間協議で、六ヶ所村へのITER建設誘致を正式表明。

2002 平成 14 19 10 村が企画開発課内に「ITER誘致推進対策室」を設置。開催「クリスタルバレイ」構想検討委員会」が青森市内で開催され、むつ小川原地域で導入を目指す「環境・エネルギー産業創造特区」構想の概要を示す。

2002 平成 14 7・18 日本原燃(株)が「高ベータガンマ廃棄物」を処分する次期埋設事業予定地の予備調査結果を村議会全員協議会に報告。

2002 平成 14 10 23 県がITER建設候補地の村内新納屋、弥栄平、沖付の3地点で地質調査開始。

2002 平成 14 10 22 村が日本原燃(株)が計画する次期埋設施設について、本格調査開始を了解。

2002 平成 14 29 ITERの第6回政府間協議が村文化交流プラザで開催。

2002 平成 14 11 1 日本原燃(株)が建設中の使用済核燃料再処理工場で機器や設備の不具合を調べる科学試験開始。

2002 平成 14 11 1 日本原燃(株)が「高ベータガンマ廃棄物」を処分する次期埋設事業予定地の本格調査を開始。

2002 平成 14 12 1 再処理工場の検査を主な目的とした「財」六ヶ所保障措置センターが完成。業務開始。

2002 平成 14 13 日本原燃(株)が本社を六ヶ所村に移転。

2002 平成 14 1 1 県が原子力施設の監視強化を図るため、千歳平に原子力センターを設置。

2002 平成 14 5 19 経済産業省資源エネルギー庁が尾駁に青森原子力産業立地調整官事務所を設置。

2002 平成 14 6 6 (株)ジェイテック設立。

2002 平成 14 7 24 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第8回)原子力安全・保安院が、日本原燃(株)における「水漏れ」問題や多数の不適切な施工工事等に対する品質保証体制について、適切に点検計画を指導していくことを目的として、「六ヶ所再処理施設総点検に関する検討会」を設置。

2002 平成 14 10 28 村員などが参加し再処理施設を対象とした原子力防災訓練(第11回)を実施。

2002 平成 14 4 28 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第9回)中川経産大臣が再処理工場を視察。

2002 平成 14 3 4 県及び村は、国が燃料貯蔵施設の健全性を評価したことや、国と日本原燃(株)から安全確保や信頼回復に向けた取り組みを確認できたとして、使用済核燃料搬入の再開を容認。

2002 平成 14 5 26 日本風力開発(株)、二又地区に風力発電機20基完成。

2002 平成 14 6 3 日本原燃(株)が、使用済燃料受入を再開。

2002 平成 14 7 23 村がウラン試験に係る安全協定案の説明会を開催。

2002 平成 14 26 3 県が、ウラン試験に関する県民説明会を村文化交流プラザにて開催。

2002 平成 14 11 22 県及び村と日本原燃(株)の間において、六ヶ所再処理工場における使用済燃料の受け入れ及び貯蔵並びにウラン試験に伴うウランの取扱いに当たつて周辺地域の安全確保及び環境保全に関する安全協定を締結。

2002 平成 14 12 14 文部科学省が、六ヶ所保障措置センター内に六ヶ所原子力安全管理事務所を開発。

2002 平成 14 5 31 政府が六ヶ所村をITERの国内建設候補地とすることを閣議了解。

2002 平成 14 6 1 県が、庁内に「ITER誘致推進本部」を発足。同時に「ITER誘致推進室」を新設。

2002 平成 14 4 政府がフランスで開催の公式政府間協議で、六ヶ所村へのITER建設誘致を正式表明。

2002 平成 14 19 10 村が企画開発課内に「ITER誘致推進対策室」を設置。開催「クリスタルバレイ」構想検討委員会」が青森市内で開催され、むつ小川原地域で導入を目指す「環境・エネルギー産業創造特区」構想の概要を示す。

2002 平成 14 7 18 日本原燃(株)が「高ベータガンマ廃棄物」を処分する次期埋設事業予定地の予備調査結果を村議会全員協議会に報告。

2002 平成 14 10 23 県がITER建設候補地の村内新納屋、弥栄平、沖付の3地点で地質調査開始。

2002 平成 14 10 22 村が日本原燃(株)が計画する次期埋設施設について、本格調査開始を了解。

2002 平成 14 29 ITERの第6回政府間協議が村文化交流プラザで開催。

2002 平成 14 11 1 日本原燃(株)が建設中の使用済核燃料再処理工場で機器や設備の不具合を調べる科学試験開始。

2002 平成 14 11 1 日本原燃(株)が「高ベータガンマ廃棄物」を処分する次期埋設事業予定地の本格調査を開始。

2002 平成 14 12 1 再処理工場の検査を主な目的とした「財」六ヶ所保障措置センターが完成。業務開始。

2002 平成 14 13 日本原燃(株)が本社を六ヶ所村に移転。

2002 平成 14 1 1 県が原子力施設の監視強化を図るため、千歳平に原子力センターを設置。

2002 平成 14 5 19 経済産業省資源エネルギー庁が尾駁に青森原子力産業立地調整官事務所を設置。

2002 平成 14 6 6 (株)ジェイテック設立。

2002 平成 14 7 24 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第8回)原子力安全・保安院が、日本原燃(株)における「水漏れ」問題や多数の不適切な施工工事等に対する品質保証体制について、適切に点検計画を指導していくことを目的として、「六ヶ所再処理施設総点検に関する検討会」を設置。

2002 平成 14 10 28 村員などが参加し再処理施設を対象とした原子力防災訓練(第11回)を実施。

2002 平成 14 4 28 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第9回)中川経産大臣が再処理工場を視察。

2002 平成 14 3 4 県及び村は、国が燃料貯蔵施設の健全性を評価したことや、国と日本原燃(株)から安全確保や信頼回復に向けた取り組みを確認できたとして、使用済核燃料搬入の再開を容認。

2002 平成 14 5 26 日本風力開発(株)、二又地区に風力発電機20基完成。

2002 平成 14 6 3 日本原燃(株)が、使用済燃料受入を再開。

2002 平成 14 7 23 村がウラン試験に係る安全協定案の説明会を開催。

2002 平成 14 26 3 県が、ウラン試験に関する県民説明会を村文化交流プラザにて開催。

2002 平成 14 11 22 県及び村と日本原燃(株)の間において、六ヶ所再処理工場における使用済燃料の受け入れ及び貯蔵並びにウラン試験に伴うウランの取扱いに当たつて周辺地域の安全確保及び環境保全に関する安全協定を締結。

2002 平成 14 12 14 文部科学省が、六ヶ所保障措置センター内に六ヶ所原子力安全管理事務所を開発。



- 4・3 高レベル放射性廃棄物貯蔵施設の事業許可が国から下りる。
- 20 低レベル放射性廃棄物専用運搬船「青栄丸」がむつ小川原港にテストのため初入港。
- 5・6 高レベル放射性廃棄物貯蔵施設建設着手。
- 7・1 日本原燃サービースと日本原燃産業を合併し、日本原燃(株)設立。
- 9・21 県及び村と日本原燃(株)の間において、低レベル放射性廃棄物物理施設に関する安全協定締結。
- 10・30 むつ小川原港からの原子燃料運搬専用道路完成。
- 11・16 日本原燃サービース(株)が、再処理事業指定申請の補正申請書を科学技術庁に提出。
- 11・17 大同電機工業(株)六ヶ所工場操業開始。
- 12・7 低レベル放射性廃棄物専用運搬船「青栄丸」が低レベル放射性廃棄物初搬入のため、むつ小川原港に接岸。
- 8 低レベル放射性廃棄物物理施設センター操業開始。低レベル放射性廃棄物を初搬入。
- 11・17 原子燃料再処理工場に国が事業許可。
- 12・31 青森県むつ小川原開発公社が解散。
- 4・14 科学技術庁から原子燃料再処理工場の設計・工事方法に関する許可が下りる。
- 3・31 原子燃料再処理工場建設着手。
- 28 原燃Pセンター別館オープン。
- 5・1 環境科学技術研究所が完成。
- 6・18 日本原燃(株)の環境管理センターが完成。
- 7・12 ウラン濃縮施設増設分について国が事業許可。
- 9・9 ウラン濃縮施設増設分の工事着手。
- 10・16 江田科学技術庁長官が原子燃料サイクル施設を視察。
- 11・18 東北トコクニ機電(株)六ヶ所工場完成。
- 10・1 高レベル放射性廃棄物貯蔵施設が使用前検査に合格。
- 11・17 ウラン濃縮機器(株)六ヶ所工場完成。
- 11・17 田中科学技術庁長官が原子燃料サイクル施設を視察。
- 7・27 むつ小川原港5万トン岸壁工事着工。
- 10・31 県及び村と日本原燃(株)の間において、高レベル放射性廃棄物貯蔵施設に関する安全協定締結。
- 12・26 高レベル放射性廃棄物貯蔵施設が使用前検査に合格。
- 30 18 村が国際熱核融合実験炉「ITER:イーター」(以降「ITER」)をむつ小川原開発地域に誘致することを表明。
- 3・7 ITER誘致に向け、村内企業や住民による「六ヶ所村核融合研究施設誘致推進会議」が発足。
- 30 17 村議会が国際熱核融合実験炉誘致について陳情を採択。村、県などが参加し廃棄物管理施設を対象とした原子力防災訓練(第4回)を実施。
- 4・26 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター操業開始。高レベル放射性廃棄物が初搬入。
- 6・16 ITER誘致に向け、県に要望書提出。
- 10・23 県がITERのむつ小川原開発地域への誘致を表明。
- 6・12 (株)日本原子力産業会議に「RI:放射線利用に関する総合研究施設」の誘致に向け、調査を委託。
- 9・17 ウラン濃縮工場への原料ウラン海上輸送初搬入。
- 3・18 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第2回)国に原子燃料サイクルの着実な推進を図るため、自治体の理解と協力が不可欠であるとの観点から、「核燃料サイクル協議会」が設置される。
- 3・14 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第3回)量子科学総合研究機構の立地を目指して村に「教育・研究機関立地計画案」を設置。
- 5・1 原燃マシナリー(株)設立。

- 7・4 日本原燃(株)が高ベータ・ガンマ廃棄物埋設施設の建設に向けた予備調査を同社敷地内で開始。
- 6 原子燃料サイクル施設における事故対応の拠点となる、応急対策拠点施設(オフサイトセンター)「原子力防災研究プラザ」が尾駈地区に完成し、関係者に公開される。
- 9 県の「クリスタルバレイ構想」立地企業第1号のエアアイエス(株)が液晶カラーフィルター製造工場の操業開始。
- 16 尾身科学技術担当相が県と村が六ヶ所村に誘致しているITERの建設候補予定地を視察。
- 17 県、村、むつ小川原産業活性化センター、県-ITER誘致推進会議が福田内閣官房長官及び原子力委員会委員らにITERの建設候補予定地を選定を要請。
- 26 村議会が全員協議会を、県と村が目指すむつ小川原地域へのITER誘致了承。
- 27 県が文部科学省へむつ小川原地域へのITER誘致希望提案書を正式に提出。
- 8・1 平沼経済産業相が県と村がむつ小川原地域へ誘致しているITERの建設候補予定地を視察。
- 8 ITER建設候補予定地を視察。
- 13 文部科学省のITERサイト適地調査専門家会合がITER建設候補予定地を視察。
- 20 内閣府総合科学技術会議(議長・小泉純一郎首相)の議員がITER建設候補予定地を視察。
- 24 日本原燃(株)が県及び村に対し、ウラン・プルトニウム混合酸化物「MOX」(以降、MOX)燃料加工工場の立地協力を要請。
- 27 県と村がむつ小川原地域へ立地を目指す量子科学研究機構の内容について、県内外の学識経験者による「放射光施設整備検討委員会」が青森市で第1回会合を開催。
- 9・14 日本原燃(株)がMOX燃料工場の計画概要について村議会全員協議会で説明。
- 10・19 経団連むつ小川原開発推進委員会と新むつ小川原(株)の株主がむつ小川原工業地域を視察。
- 11・22 エコ・パワーがむつ小川原開発地域に建設を進めていた風力発電機9基が完成。
- 12・1 むつ小川原石油備蓄(株)が本社を村内同事業所へ移転。
- 1・21 エコ・パワーがむつ小川原開発地域に建設した試験運転中の風力発電機9号機から出火。
- 2・1 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第7回)再処理施設使用済燃料受入・貯蔵施設内のPWR燃料貯蔵プールから、プールの漏えいが発生。
- 8 原子力防災研究プラザが、国からオフサイトセンターの指定を受ける。
- 17 経済産業省資源エネルギー庁がMOX燃料加工工場について村文化交流プラザで説明会開催。
- 4・19 県のMOX安全性・チェック検討会がMOX燃料加工工場の安全性に係る報告書を村議会全員協議会で説明。
- 5・2 日本風力開発は、二又地区に計画している国内最大級の風力発電所(風車の郷)事業について村議会全員協議会で説明し、村議会が事業推進を容認。
- 5 エコ・パワーが発電施設1基を焼いた火災事故の原因調査結果を村に報告、陳謝。
- 8 県がMOX燃料加工工場の安全性・チェック検討会による審査結果の住民説明会を村文化交流プラザで開催。
- 29 内閣府総合科学技術会議がITERの国内建設候補地に六ヶ所村を選定。

- 20 六ヶ所保障措置分析所が運用開始。
- 17 日本原燃(株)が、ウラン試験用の劣化ウランを初搬入。
- 21 日本原燃(株)が、再処理工場においてウラン試験を開始。
- 1 県が、MOX燃料加工施設に係る安全性チェック・検討会を村文化交流プラザにて開催。
- 2 県が、MOX燃料加工施設に係る安全性チェック・検討会の検討結果の説明会を村内6地区で開催。(4日)
- 3 2 村はMOX燃料加工施設に係る議会全員協議会を開催。県及び村と日本原燃(株)の間において、MOX燃料加工施設に係る立地基本協定を締結。
- 4 19 村が、MOX燃料加工施設に係る安全性チェック・検討会を村文化交流プラザにて開催。
- 18 日本原燃(株)が、MOX燃料加工施設に係る事業許可申請を原子力安全・保安院に提出。
- 6 11 海外からの高レベル放射性廃棄物が搬入される。(第10回)ITER本体の建設地がフランスのカララッシュに決定。
- 25 県が、ウラン試験中間報告書及び原子力安全・保安院の評価について、県民説明会を村文化交流プラザにて開催。
- 3 14 県が、アクティブ試験に関する県民説明会を村文化交流プラザにて開催。
- 2 2 村が、アクティブ試験に関する説明会を村内5地区で開催。(18日)
- 21 二階経産大臣が再処理工場を視察。
- 29 14 県及び村と日本原燃(株)の間において、六ヶ所再処理工場における使用済燃料の受入れ及び貯蔵並びにアクティブ試験に伴う使用済燃料等の取扱いに当たった周辺の地域の安全確保及び環境保全に関する安全協定を締結。
- 30 六ヶ所保障措置分析所に係る原子力防災専門官事務室を開設するとともに、原子力防災研究プラザが、オフサイトセンターの指定を受ける。
- 31 日本原燃(株)は、再処理工場においてアクティブ試験を開始。
- 4 文部科学省が、原子力防災研究プラザ内に原子力専門官事務室を設置。
- 29 県のクリスタルバレイ構想立地企業第2号の東北デバイス(株)竣工式。

官公署等(国)

陸上自衛隊 六ヶ所対空射撃管理隊	0175-77-2577
経済産業省資源エネルギー庁 青森原子力産業立地 調整官事務所六ヶ所連絡室	0175-71-0555
経済産業省原子力安全・保安院 六ヶ所原子力保安検査官事務所	0175-72-3520
文部科学省 六ヶ所原子力安全管理事務所	0175-72-2116
文部科学省 六ヶ所保障措置センター	0175-72-3010
財団法人 核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター	0175-71-0460
財団法人 環境科学技術研究所	0175-71-1200
財団法人 原子力安全技術センター 防災技術センター	0175-71-1185
独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 むつ小川原国家石油備蓄基地事務所	0175-73-3611
独立行政法人 日本原子力研究開発機構 青森事務所	0175-45-1243
独立行政法人 原子力安全基盤機構	0175-71-0881

官公署等(県)

野辺地警察署尾駮交番	0175-72-2110
野辺地警察署泊駐在所	0175-77-3110
野辺地警察署平沼駐在所	0175-75-2110
野辺地警察署千歳平駐在所	0175-74-3110
青森県エネルギー総合対策局 六ヶ所駐在所	0175-74-2255
青森県むつ小川原港管理事務所	0175-74-2344
青森県原子力センター	0175-74-2251
青森県環境保健センター 六ヶ所放射線監視局	0175-74-2251
(社)青森県内用牛開発公社 酪農振興センター	0175-75-3059

官公署等(村)

六ヶ所村役場	0175-72-2111
① 六ヶ所村役場泊支所	0175-77-2204
② 六ヶ所村役場平沼支所	0175-75-2111
六ヶ所村種苗供給センター	0175-77-3644
六ヶ所村学校給食センター	0175-72-2675
③ 六ヶ所消防署	0175-72-2301
④ 六ヶ所消防署北分署	0175-77-3525
⑤ 六ヶ所消防署南分署	0175-75-2000

交通アクセス

●車		●東北自動車道	
六ヶ所～青森	1時間40分	八戸～仙台	3時間30分
六ヶ所～野辺地	40分	八戸～盛岡	1時間30分
六ヶ所～むつ	60分		
六ヶ所～三沢	50分	●東北新幹線	
六ヶ所～八戸	1時間20分	八戸～東京	3時間
		八戸～仙台	1時間30分
●バス		●電車	
六ヶ所～青森	2時間30分	野辺地～八戸	30分
六ヶ所～野辺地	60分	野辺地～青森	30分
六ヶ所～三沢	1時間20分		

学校関係・幼稚園

レイクタウン幼稚園	0175-71-1133
泊小学校	0175-77-3014
尾駮小学校	0175-72-2016
戸鎖小学校	0175-74-3723
千歳平小学校	0175-74-2161
平沼小学校	0175-75-2012
倉内小学校	0175-75-2115
泊中学校	0175-77-2033
第一中学校	0175-72-2040
第二中学校	0175-75-3141
千歳中学校	0175-74-2166
青森県立六ヶ所高等学校	0175-74-2304

医療・福祉施設

⑥ 尾駮診療所	0175-72-2791
⑧ 千歳平診療所	0175-74-2301
⑦ 泊診療所	0175-77-2030
六ヶ所村保健相談センター	0175-72-2793
六ヶ所村老人福祉センター	0175-75-3000
高齢者生活福祉センター	0175-71-3311
六ヶ所村地域交流ホーム	0175-72-3455
社会福祉法人松緑福祉会 特別養護老人ホームほんでん荘	0175-72-3886
社会福祉法人松緑福祉会 知的障害者更生施設かけはし寮	0175-72-4700
泊保育所	0175-77-2128
泊第二保育所	0175-77-3642
尾駮保育所	0175-72-2302
平沼保育所	0175-75-2112
千歳平保育所	0175-74-2233

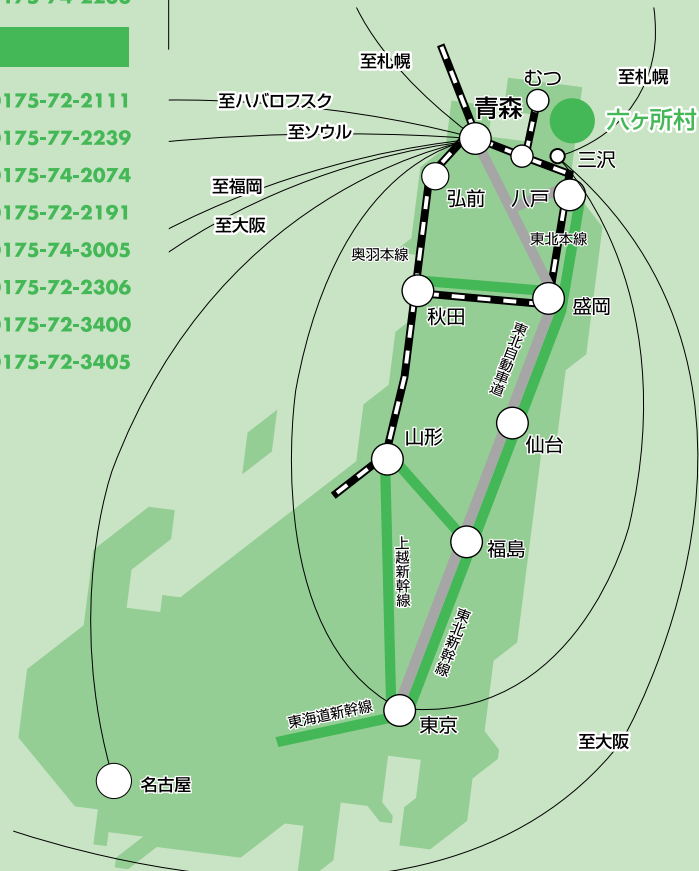
教育・文化・運動施設

⑨ 六ヶ所村立中央公民館	0175-72-2111
⑩ 六ヶ所村立泊地区公民館	0175-77-2239
⑪ 六ヶ所村立千歳平地区公民館	0175-74-2074
大石総合運動公園 総合体育館	0175-72-2191
⑫ 六ヶ所村千歳平地区体育館	0175-74-3005
六ヶ所村立郷土館	0175-72-2306
文化交流プラザ・スワニー	0175-72-3400
六ヶ所村民図書館	0175-72-3405

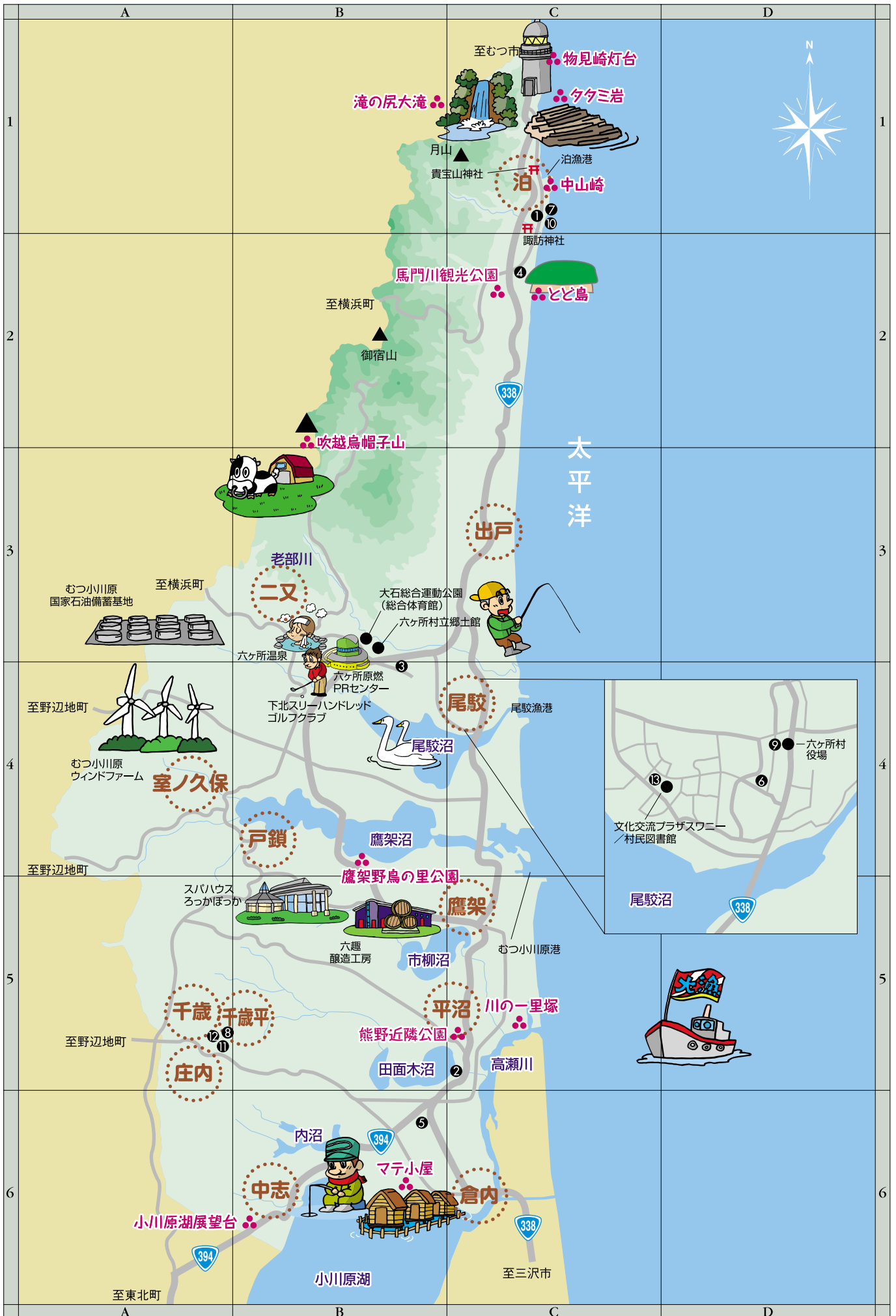
その他

とうほく天間農業協同組合 六ヶ所支所	0175-75-2001
倉内地区酪農農業協同組合	0175-74-2628
六ヶ所村酪農会館	0175-74-2628
泊漁業協同組合	0175-77-3121
六ヶ所村海水漁業協同組合	0175-72-2341
六ヶ所村漁業協同組合	0175-75-2020
六ヶ所村まちづくり協議会	0175-72-2121
六ヶ所村商工会	0175-72-2331
六ヶ所村観光協会 (役場商工観光課内)	0175-72-2111
六ヶ所商工事業協同組合	0175-72-3038
㈱青森銀行六ヶ所支店	0175-72-2304
㈱みちのく銀行六ヶ所支店	0175-72-2231
青森県信用組合六ヶ所支店	0175-72-2234
むつ小川原石油備蓄㈱ 六ヶ所事業所	0175-73-3111
日本原燃㈱	0175-71-2000
六ヶ所げんねん企画㈱ 六ヶ所原燃PRセンター	0175-72-3101
スパハウスろっかぼっか	0175-69-1126
⑬ 六ヶ所地域振興開発㈱ リーブ	0175-72-3061
六趣醸造工房	0175-71-3335
泊郵便局	0175-77-2050
六ヶ所郵便局	0175-72-2050
平沼郵便局	0175-75-2050
倉内簡易郵便局	0175-74-2628

※●内の番号は地図上での施設位置を示しています



※青森～福岡、三沢～札幌は2007年10月以降休止。





発行／六ヶ所村  
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字野附 475 番地  
TEL.0175-72-2111(代)  
編集／六ヶ所村 企画・防災部門 企画調整課  
制作／アール・イー・ビー開発株式会社